

令和7年度（2025年度）
学校推薦型選抜 学生募集要項

学校推薦型選抜 II

（大学入学共通テストを課す）

教 育 学 部
医 学 部
薬 学 部
工 学 部
情報融合学環

インターネットによる出願受付のみ



入学者選抜等関係日程

事 項	日 程
大学入学共通テスト	令和7年1月18日(土)・19日(日)
出 願 期 間	令和7年1月20日(月)から1月24日(金)17時まで(必着) ※ただし、インターネット出願システムは、1月14日(火)から事前登録が可能です。
受 験 票 【受験番号確定メール送信日】	令和7年1月31日(金)に、インターネット出願システムよりダウンロードが可能となる予定です。 ※当日の17時までに登録された電子メールアドレスへ「受験番号確定メール」を送信しますので、本学からのメールを確実に受信できるようにしてください。 (詳細は67ページ参照)
試 験 日	令和7年2月8日(土)
合 格 者 発 表	令和7年2月12日(水) 15時(予定) (インターネット出願システムにて発表) ※参考のため、熊本大学ウェブサイトへ合格者の受験番号を掲載します。 なお、通信環境の状況により遅れる場合があります。 (詳細は68～69ページ参照)
入 学 手 続 期 間	令和7年2月18日(火)から2月19日(水)17時まで(必着) (詳細は69～70ページ参照)

この要項における表記について

大学入学共通テストの出題教科・科目名は、次のように略しています。

- 国語 → 国
- 地理歴史 → 地歴
 - 「地理総合，地理探究」 → 「地総・地探」、 「歴史総合，日本史探究」 → 「歴総・日探」、
 - 「歴史総合，世界史探究」 → 「歴総・世探」
 - 「旧世界史B」 → 「旧世B」、 「旧日本史B」 → 「旧日B」
- 公民
 - 「公共，倫理」 → 「公・倫」、 「公共，政治・経済」 → 「公・政経」
 - 「旧現代社会」 → 「旧現社」、 「旧倫理」 → 「旧倫」、 「旧政治・経済」 → 「旧政経」、
 - 「旧倫理，旧政治・経済」 → 「旧倫・旧政経」
- 数学 → 数
 - 「数学Ⅰ，数学A」 → 「数Ⅰ・数A」、
 - 「数学Ⅱ，数学B，数学C」 → 「数Ⅱ・数B・数C」、
 - 「旧数学Ⅰ・旧数学A」 → 「旧数Ⅰ・旧数A」、 「旧数学Ⅱ・旧数学B」 → 「旧数Ⅱ・旧数B」、
 - 「旧簿記・会計」 → 「旧簿」、 「旧情報関係基礎」 → 「旧情報基礎」
- 理科 → 理
- 外国語 → 外
 - 「英語」 → 「英」、 「ドイツ語」 → 「独」、 「フランス語」 → 「仏」、 「中国語」 → 「中」、
 - 「韓国語」 → 「韓」
- 情報 → 情

目 次

アドミッション・ポリシー	1
募集人員・出願方法	11
大学入学共通テスト教科・科目の確認表	13
推薦・選抜方法等	
1. 教育学部	15
2. 医学部医学科（一般枠）	25
3. 医学部医学科（地域枠）	27
4. 医学部医学科（みらい医療枠）	31
5. 医学部保健学科	34
6. 薬学部	36
7. 工学部（ア）	38
8. 工学部（イ）	41
9. 情報融合学環（一般枠）	44
10. 情報融合学環（女子枠）	47
出願・受験案内等	
1. 出願手続	50
2. 検定料の支払方法	53
3. インターネット出願登録方法	55
4. 受験票及び試験場等案内	67
5. 受験に際しての注意事項	67
6. 合格者発表	68
7. 入学手続	69
8. 合格者に対する注意事項	70
9. 学校推薦型選抜志願者が一般選抜を志願する場合の取扱い	70
10. 障がい等を有する入学志願者との事前相談	71
11. 請求により本人に開示される個人情報	72
12. 個人情報の取扱い	73
学生生活等	
1. 学生寄宿舍（学生寮）	74
2. 高等教育の修学支援新制度による入学料・授業料等減免について	75
3. 奨学金	75
参考資料	
令和7年度学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項の主な変更点	76
令和6年度学校推薦型選抜Ⅱの実施状況	77
熊本大学位置図	78

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

熊本大学のアドミッション・ポリシー

熊本大学では次のような人を求めます。

- ・主体的な学びを通して高い教養と専門性を身に付け、人類社会の発展に貢献したいと思う人
- ・多様な文化や価値観を寛容に受け入れ、理性的判断に基づく対話ができる人
- ・新しい課題に意欲的に取り組み、理性ある行動ができる人
- ・グローバルな視野を持ちつつ、地域社会や世界が抱える課題の解決に貢献する意欲を持つ人

各学部及び学環のアドミッション・ポリシー

教育学部

<学校教育教員養成課程>

I 求める学生像

教育学部では広い視野と深い教養を持った豊かな人間性を基盤とした教員の養成のため、必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探求能力を育成することを目的としています。このことを踏まえ、次のような人を広く求めます。

1. 教員を目指す強い意志と情熱を持ち、教育に関わる諸問題解決に真摯で意欲的に取り組むことができる人
2. 自ら学ぼうとする学習意欲があり、高等学校までの教科（例えば国語・数学・外国語等）の基礎的知識・技能を活用して問題を解決できる能力を持つ人
3. 子どもの教育と社会的活動に幅広い興味と関心を有する人
4. 必要なコミュニケーション能力と協調性を備えている人
5. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を有する人

<初等・中等教育コース>

(小学校専攻)

小学校専攻では、人材育成の目的及び学位授与の方針を踏まえ、次のような人を広く求めます。

1. 小学校教員を目指す強い意志と情熱を持ち、教育に関わる諸問題解決に真摯で意欲的な取り組みができる人
2. 自ら学ぼうとする学習意欲があり、高等学校までの教科（例えば国語・数学・外国語等）の基礎的知識・技能を活用して問題を解決できる能力を持つ人
3. 子どもの教育と社会的活動に幅広い興味と関心を有する人
4. 必要なコミュニケーション能力と協調性を備えている人
5. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を有する人

(教科に関する専攻)

教科に関する専攻では、人材育成の目的及び学位授与の方針を踏まえ、次のような人を広く求めます。

1. 小・中学校教員を目指す強い意志と情熱を持ち、教育に関わる諸問題解決に真摯で意欲的な取り組みができる人
2. 自ら学ぼうとする学習意欲があり、高等学校までの教科（例えば国語・数学・外国語等）の

- 基礎的知識・技能を活用して問題を解決できる能力を持つ人
3. 子どもの教育と社会的活動に幅広い興味と関心を有する人
 4. 必要なコミュニケーション能力と協調性を備えている人
 5. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を有する人

<特別支援教育コース>

特別支援教育コースでは、広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした特別支援教育の指導者の養成のため、必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成することを目的としています。このことを踏まえ、次のような人を広く求めます。

1. 特別支援学校や小・中学校等において、特別な支援を必要とする子どもの教育を担う教員を目指す強い意志と情熱を持ち、特別支援教育への関心と意欲を有する人
2. 自ら学ぼうとする学習意欲があり、高等学校までの教科（例えば国語・数学・外国語等）の基礎的知識・技能を活用して問題を解決できる能力を持つ人
3. 子どもの教育と社会的活動に幅広い興味と関心を有する人
4. 必要なコミュニケーション能力と協調性を備えている人
5. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を有する人

<養護教育コース>

養護教育コースでは、広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした養護教諭の養成のため、必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成することを目的としています。このことを踏まえ、次のような人を広く求めます。

1. 養護教諭を目指す強い意志と情熱を持ち、子どもの心身の発達、健康課題、健康管理、健康教育に関心を有する人
2. 自ら学ぼうとする学習意欲があり、高等学校までの教科（例えば国語・数学・外国語等）の基礎的知識・技能を活用して問題を解決できる能力を持つ人
3. 子どもの教育と社会的活動に幅広い興味と関心を有する人
4. 必要なコミュニケーション能力と協調性を備えている人
5. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を有する人

II 入学者選抜の基本方針

教育学部では、大学入学までに身につけておくことが期待される資質・能力として、子どもの教育に対する幅広い関心と情熱、論理的思考力、コミュニケーション能力を重視しています。また、以上の学生を選抜するための基本方針として、多様な学生を評価できる入試を提供します。

<初等・中等教育コース>

(小学校専攻)

小学校専攻では、大学入学までに身につけておくことが期待される資質・能力として、子どもの教育に対する幅広い関心と情熱、論理的思考力、コミュニケーション能力を重視しています。また、以上の学生を選抜するための基本方針として、多様な学生を評価できる入試を提供します。

(教科に関する専攻)

教科に関する専攻では、大学入学までに身につけておくことが期待される資質・能力として、生徒の教育に対する幅広い関心と情熱、論理的思考力、コミュニケーション能力を重視しています。また、以上の学生を選抜するための基本方針として、多様な学生を評価できる入試を提供します。

<特別支援教育コース>

特別支援教育教員コースでは、大学入学までに身につけておくことが期待される資質・能力として、子どもの教育に対する幅広い関心と情熱、論理的思考力、コミュニケーション能力を重視しま

す。また、以上の学生を選抜するための基本方針として、多様な学生を評価できる入試を提供します。

<養護教育コース>

養護教育コースでは、大学入学までに身につけておくことが期待される資質・能力として、心身の健康教育を中心とする子どもの教育に対する幅広い関心と情熱、論理的思考力、コミュニケーション能力を重視しています。また、以上の学生を選抜するための基本方針として、多様な学生を評価できる入試を提供します。

III 選抜方法

【学校推薦型選抜Ⅱ】

大学入学共通テストを課し、高等学校までの教科の基礎的知識・技能を評価するとともに、調査書や推薦書等を参考にしながら、各コース・専攻の特性を踏まえた面接、実技等を実施し、論理的思考力・判断力・表現力等及び教職への意欲を総合的に評価し、選抜を行います。なお、面接においては、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度についても評価します。

※ 各選抜で特に重視するポイント（◎：特に大きい比重、○：大きい比重）

評価観点 入試区分	学力の3要素			求める人材像 (アドミッション・ポリシー)			
	知識・技能 (基礎学力)	思考力、 判断力、 表現力	主体性、 多様性、 協働性	教員を目指す意志、教育に関わる問題解決への意欲	学習意欲、問題を解決できる能力	教育と社会的活動への興味・関心	コミュニケーション能力、協調性
一般選抜（前期日程）	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
私費外国人留学生選抜	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎

医学部

熊本大学医学部では、医学・保健学（看護学・放射線技術科学・検査技術科学）の発展に寄与し、広く社会に貢献できる医療者・研究者・教育者を育成するために、豊かな人間性、優れた協調性、高い倫理観、十分な基礎学力、科学的探究心、国際的視野を持つ人を求めています。

<医学科>

I 求める学生像

熊本大学医学部医学科の使命

豊かな人間性と高い倫理観を持ち、医学およびその関連領域における社会的な使命を生涯にわたって追求・達成するとともに、変化する時代に対応できる能力を涵養し、地域にも世界にも貢献できる医師・医学者を育てる。

アドミッション・ポリシー

熊本大学医学部医学科の使命を達成するために、医学部医学科では、次のような人を求めています。

1. 病める人たちやその家族の気持ちを理解できる人
2. チーム医療の中心的役割を果たすための優れた協調性を持つ人

3. 地域医療に関心を持ち、地域住民の健康増進に貢献する意欲を持つ人
4. 科学的探究心が旺盛で、国際的視野で医科学研究を展開する意欲に溢れる人
5. 社会に対する幅広い視野を有し、地域や国際社会における保健医療や福祉に深い関心を持つ人
6. 日々進歩する医学や医療の最新知識を吸収できる基礎学力を持ち、生涯にわたって自己学習を継続できる人
7. 医学と医療以外の幅広い分野にも興味を持ち、継続的に教養を深める意欲に溢れる人

II 入学者選抜の基本方針

医学部医学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を踏まえ、基礎的知識（基礎学力）、論理的思考力・判断力・表現力等を評価します。

（医学科への入学までに身につけてほしいこと）

受験生の多様性に合わせて、大学入学共通テスト及び個別学力検査では物理・化学・生物から2科目選択となっていますが、入学後、医学科の様々な専門科目の基礎として、高等学校で学ぶ「生物・生物基礎」は重要な科目です。生物学の教科書はバランス良く構成されており、最新の生命現象についても平易に解説されていますので、幅広く学んでおくことが必要です。

また、教科の基礎学力だけでなく、論理的な文章を書くための国語力、グローバルでグローバルな医療の世界での共有言語である英語の素養を十分に身につけ、国際的な広い視野とコミュニケーション能力を備えていることも重要です。

III 選抜方法

【学校推薦型選抜II】

「知識・技能」については、大学入学共通テストを利用して高等学校の教育課程の教科・科目に関する総合的な学力を、個別学力検査により、入学後の学習とより密接にかかわる教科・科目について学力をより深く判定します。また、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」については、推薦書、調査書、小論文及び面接により判定し、それらの判定結果から入学者を選抜します。

※ 各選抜で特に重視するポイント（◎：特に大きい比重、○：大きい比重）

評価観点	学力の3要素			求める人材像 (アドミッション・ポリシー)		
	知識・技能 (基礎学力)	思考力、 判断力、 表現力	主体性、 多様性、 協働性	チーム医療に 必要とされる コミュニケーション能力・ 協調性	地域医療 への関心・ 貢献	医科学研究への関 心・持続的 な学習意 欲
入試区分						
一般選抜（前期日程）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
学校推薦型選抜II	◎	◎	◎	◎	◎	◎
私費外国人留学生選抜	◎	◎	◎	○	○	○

<保健学科>

I 求める学生像

保健学（看護学、放射線技術科学、検査技術科学）の発展を担い、広く社会に貢献できる資質の高い医療者・研究者・教育者を育成するために、保健学科では保健学科の求める学生像を踏まえ、次のような人を求めています。

1. 看護職（看護師、保健師、助産師）並びに診療放射線技師、臨床検査技師という職業に魅力を感じ、専門分野において地域貢献するとともに、国際的な広い視野で物事を考え、活躍

する意欲と熱意のある人

2. 人間に対する尊厳の念を持ち、多様な価値観を受け入れる寛容さと優れた協調性を備えた人間性豊かな人で、医療における高い倫理観とマナーを育てている資質を持った人
3. 高等学校までの履修科目の基礎事項を理解した上で、国語、外国語とともに2科目以上の理科（生物、化学、物理）において優れた学力を有する人
4. 高等学校までに自らの目標に基づいて取り組んだ経験やクラブ活動あるいは生徒会活動、ボランティア活動等の経験を有し、様々な社会環境を受け入れることができる豊かな人間性を持った人
5. 専門分野の知識や技術に興味・関心を持って学び、実験や臨地実習においても真摯な態度で自らの課題を設定して問題解決し、新しい分野にも積極的に取り組んでいくフロンティア精神を持った人
6. 協調性に富み、チーム医療の一員としてお互いの仕事を尊重しつつ協同的に働き、専門分野における役割・機能の責務を果たし、指導的役割を担える資質を有する人
7. 科学的探求心と積極的学習意欲を備え、学部卒業後は専門職業人や教育者・研究者としての能力を高め、指導的立場に立って社会貢献しようという意欲のある人

II 入学者選抜の基本方針

医学部保健学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を踏まえ、知識・技能（基礎学力）・思考力・判断力・表現力等を評価します。また、入学後のカリキュラムを考慮して、選抜にあたっては数学・理科科目を主とした論理的思考力や科学的探究心、英語科目による読解・表現のための外国語能力、国語科目を主とした理解力及び構成的論述能力、医療従事者に必要な倫理観や協調性、社会貢献等への関心やその他学習意欲等を重視します。

III 選抜方法

【学校推薦型選抜II】

基礎学力に加え、保健学科を志望した動機、科学的・知的探究心、柔軟な思考力、保健学に対する熱意と適性、高等学校における活動状況、ボランティア等の社会貢献、その他学習意欲を主体として、評価・選抜を行います。そのため、大学入学共通テスト及び面接試験を課し、書面審査では、調査書の評価します。

※ 各選抜で特に重視するポイント（◎：特に大きい比重、○：大きい比重）

評価観点 入試区分	学力の3要素			求める人材像 (アドミッション・ポリシー)	
	知識・技能 (基礎学力)	思考力、 判断力、 表現力	主体性、 多様性、 協働性	専門職業人としての基礎学力	専門職業人としての適性
一般選抜（前期日程）	◎	○		◎	
学校推薦型選抜II	◎	○	○	◎	○
社会人選抜	○	○	○	○	○
私費外国人留学生選抜	◎	○	○	◎	○

薬学部

I 求める学生像

薬学部では、“薬学は医薬を通して人類の健康に貢献する総合科学である”との理念のもと、医薬品の創製・生産・管理、環境・保健衛生及び薬剤師の職務等に関わる基礎知識を習得させ、生命科学を基礎とする高度な創薬・育薬研究能力と倫理観を備えた創造性豊かな人材を育成することを目指しています。将来の薬学を担う人材を育成するため、本学部では次のような人を求めています。

- ・ “くすり”に関わる職業に魅力を感じ、自らその仕事に携わりたいという希望や意欲を有する人
- ・ 困難を克服する精神力や生命に対する倫理観、マナーを育んでいける人
- ・ 高等学校までの履修科目の基礎事項を理解し、その上で、化学、物理、生物の一つあるいは複数の科目において特に優れた力を有する人
- ・ 情報収集、情報発信、コミュニケーションの手段としての情報科学や外国語能力の向上のための努力を持続できる人
- ・ 高等学校までにクラブ活動、生徒会活動およびボランティア活動など様々な活動に参加したり、あるいは自らの目標や考えの基に何かに取り組んだり、趣味を楽しんだりした経験を有する人
- ・ 学部卒業後は、薬学の様々な領域で指導的立場に立って社会に貢献しようという意欲を有する人

<薬学科>

薬学部の理念・目標に基づき臨床に関わる薬学を担う人材を育成するため、薬学部の方針に加え、薬学科では次のような人を求めています。

1. “薬剤師”という職業に魅力を感じ、卒業後は医療や臨床薬学研究など様々な薬学領域で指導的立場に立って社会に貢献しようという意欲を有する人
2. 薬剤師として患者様の気持ちや考えを理解できるように人間愛や倫理観、協調性を育んでいける人

<創薬・生命薬科学科>

薬学部の理念・目標に基づき創薬や育薬に関わる薬学を担う人材を育成するため、薬学部の方針に加え、創薬・生命薬科学科では次のような人を求めています。

1. “研究”や“開発”に魅力を感じ、卒業後は創薬・育薬や生命薬科学を通して社会に貢献しようという意欲を有する人
2. 研究者、開発者としての倫理観や困難を克服する精神力と体力を育んでいける人

II 入学者選抜の基本方針

薬学部の入学試験では、高等学校までの教育課程を踏まえ、基礎的知識（基礎学力）論理的思考力・判断力・表現力等を評価します。また、入学後のカリキュラムを考慮して、高等学校においては、理科（物理・生物のいずれか及び化学）、数学、外国語（英語）、国語、地理歴史・公民を修得していることを望みます。

III 選抜方法

【学校推薦型選抜Ⅱ】

「知識・技能」については、大学入学共通テストを利用して高等学校の教育課程の教科・科目に関する総合的な基礎学力を判定します。また、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」については推薦書、調査書、志望理由書及び面接により判定し、それらの判定結果から入学者を選抜します。

※ 各選抜で特に重視するポイント（◎：特に大きい比重、○：大きい比重）

評価観点 入試区分	学力の3要素			求める人材像 (アドミッション・ポリシー)		
	知識・技能 (基礎学力)	思考力、 判断力、 表現力	主体性、 多様性、 協働性	“くすり”に 関わる職業に 魅力を感じ、 自らその仕事 に携わりたい という希望や 意欲を有する	困難を克服する 精神力や生命 に対する倫理観、 マナーを 育てている	情報収集、情報 発信、コミュニ ケーションの 手段としての 情報科学や外 国語能力の向 上のための努 力を持続でき る
一般選抜（前期日程）	◎	◎	○	◎	◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
私費外国人留学生選抜	◎	◎	◎	◎	◎	◎

工学部

I 求める学生像

工学部は、優れた資質や能力、高度な専門性を備えた技術者及び研究者を養成するとともに、高度な科学技術の提供により人類の福祉と文化の進展、自然との共生に寄与します。あわせて、工学研究の推進や先端科学技術の開発によって工学の進歩、地域・産業界の発展に貢献することを目指しています。このため、工学部では次のような人を求めます。

1. 明確な目標を持って主体的に考え、自ら行動できる人
2. 工学を学習するのに必要な基礎学力（特に、数学、理科）を持っている人
3. 社会性やコミュニケーション能力を備えている人
4. 人類の幸福・福祉や自然との共生に関心を持っている人
5. グローバル社会で活躍する意欲を持っている人
6. ものづくりに関心を持っている人

<土木建築学科>

土木建築学科では、自然環境の保全、社会基盤の安全・安心、上質で快適な都市環境を築くために土木・建築にわたる専門知識を備え、自然と共生し持続可能な社会を構築する能力を有する人材を育成することを目指しています。

以上のような観点から、本学科は次のような人を求めています。

1. 環境と共生する社会の構築、安全で魅力的な街をつくるためのまちづくりや地域防災、美しく快適な建築や都市環境を創造するための技術やデザインに対して深い興味を持ち、それらを実現するための知識や技術を修得しようとする意欲あふれる人
2. 高い倫理観をもって、将来は人間生活と社会の向上のために尽力しようとする強い意志をもつ人
3. 好奇心、探求心、向学心をもって、多様な人々と協働して課題に取り組むための協調性を育み、論理的な思考力をもって自ら考え、行動できる人
4. 高等学校までの履修科目の基礎事項を理解し、数学や理科に加えて、コミュニケーション手段としての情報リテラシーや外国語能力の向上、ものづくりの基盤となる創造力や芸術的素養を高めるための努力を持続できる人

<機械数理工学科>

機械数理工学科は、ものづくりの基幹技術である機械工学、高度なシステム技術及び必要な数

理工学を組み合わせることで広範な問題解決に活かせるグローバルな視野を持つ技術者、研究者を目指す次のような人を求めています。

1. 人間の幸福や人間と環境の融和に対して問題意識を持ち、新時代のもの作りに強い意欲を持つ人
2. 国際的な視野と優れた表現力やコミュニケーション能力を身につけ、リーダーシップと行動力を発揮する技術者・研究者を目指す人
3. 課題に対して問題点を明確にし、計画的に問題解決を目指すことができる人
4. 幅広い教養の上に機械工学と数理工学の専門知識を身につけ、それらの実社会への応用に興味を持ち、総合的な視点から広く社会に貢献しようと考えている人
5. 高等学校までの履修科目の基礎事項を理解し、その上で特に数学、物理、化学のいずれかあるいは複数の科目において特に優れた力を有する人

<情報電気工学科>

情報電気工学科では、情報・電気・電子分野における相互の関連性ならびに人間や環境との関わりを総合的に理解して、人類の福祉に供することのできる技術者、研究者を養成するため、次のような人を求めます。

1. 情報・電気・電子分野に関する基礎的理論や技術・技能に関心を持ち、積極的かつ自発的な学習・研究意欲を有している人
2. 工学的な課題解決能力を身につけ、豊かな好奇心と創造性をもって、高度情報社会をリードし、社会に貢献しようと考えている人
3. 高等学校までの履修科目の基礎事項を理解し、特に数学、物理、化学のいずれかあるいは複数の科目において優れた理解力と応用力を有する人

<材料・応用化学科>

材料・応用化学科では、物理と化学をベースとして、原子・分子レベルから物質や生命を深く理解することで、人間社会と自然環境が調和しながら発展していくことを目指して、環境、資源、エネルギーなどの課題を生命化学、物質化学、材料（マテリアル）科学の立場から解決することのできる工学技術者・研究者の養成を目標とします。

そのために次のような人材を求めます。

1. 生命化学、物質化学、材料科学に関する“研究”や“開発”に魅力を感じ、将来、それらに関連する仕事に携わりたいという希望や意欲を持った人
2. 高等学校までの履修科目の基礎事項を理解し、特に数学、物理、化学、生物の複数の科目において優れた理解力と応用力を持った人
3. 情報収集、情報発信、コミュニケーションの手段としての外国語能力の向上の努力を続けることが可能で、幅広い教養を持ち国際的に活躍できる工学技術者・研究者となる意欲を持った人

<半導体デバイス工学課程>

半導体デバイス工学課程では、半導体・エレクトロニクス分野における相互の関連性ならびに人間や環境との関わりを総合的に理解して、人類の福祉に供することのできる技術者、研究者を養成するため、次のような人を求めます。

1. 半導体デバイス工学分野に関する基礎的理論や技術・技能に関心を持ち、積極的かつ自発的な学修・研究意欲を有している人
2. 工学的な課題解決能力を身につけ、豊かな好奇心と創造性をもって、高度情報社会をリードし、社会に貢献しようと考えている人
3. 高等学校までの履修科目の基礎事項を理解し、特に数学、理科において優れた理解力と応用力を有している人
4. 英語によるコミュニケーション能力を身につけ、グローバルに活躍する技術者・研究者と

なる意欲のある人

II 入学者選抜の基本方針

工学部の入学試験ではアドミッション・ポリシーにふさわしい人材を選抜するために、一般選抜の他に総合型選抜（グローバルリーダーコース入試、帰国生徒対象）、学校推薦型選抜、私費外国人留学生選抜を実施しています。本学部の入試では、大学入学共通テスト、個別学力検査、調査書、面接及び小論文などを組み合わせて入学志願者の能力や資質を総合的に評価します。

III 選抜方法

【学校推薦型選抜Ⅱ（ア）】

「知識・技能」については、大学入学共通テストを利用して高等学校の教育課程の教科・科目に関する総合的な学力を判定します。面接では、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を判定します。以上の判定結果を総合して入学者を選抜します。

【学校推薦型選抜Ⅱ（イ）】

「知識・技能」については、大学入学共通テストを利用して職業教育を主とする専門高校（学科）及び総合学科における教育課程の教科・科目に関する総合的な学力を判定します。面接では、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を判定します。以上の判定結果を総合して入学者を選抜します。

※ 各選抜で特に重視するポイント（◎：特に大きい比重、○：大きい比重）

入試区分	評価観点	学力の3要素			求める人材像 (アドミッション・ポリシー)		
		知識・技能 (基礎学力)	思考力、 判断力、 表現力	主体性、 多様性、 協働性	人類の幸福・福祉、 自然との共生に関心をもっている人	グローバル社会で活躍する意欲をもっている人	ものづくりに関心をもっている人
一般選抜（前期日程）		◎	◎	○	○	○	○
一般選抜（後期日程）		◎	◎	○	◎	○	◎
総合型選抜 (グローバルリーダー コース入試)		◎	◎	◎	◎	◎	◎
総合型選抜 (帰国生徒対象)		◎	◎	○	◎	◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ（ア）		◎	◎	○	◎	○	◎
学校推薦型選抜Ⅱ（イ）		◎	◎	○	◎	○	◎
私費外国人留学生選抜		◎	◎	○	◎	◎	◎

情報融合学環

I 求める学生像

データサイエンスの応用領域は自然科学のみならず人文社会分野にも幅広く関連してくることから文理融合型の視点が必要とされます。理系文系を問わず、グローバルな視野を持つデータサイエンティストや技術者、研究者を目指す次のような人を求めています。

1. 人間の幸福や人間と環境の融和に対して問題意識を持ち、新時代のデータ駆動型イノベーションの創造に強い意欲を持つ人
2. 国際的な視野と優れた表現力やコミュニケーション能力を身に付け、リーダーシップと行動力を発揮するデータサイエンティストや技術者、研究者を目指す人
3. 課題に対して問題点を明確にし、計画的に問題解決を目指すことができる人
4. 文理を問わず幅広い教養の上に数理・データサイエンス・AIの専門知識を身に付け、それらの実社会への応用に興味を持ち、総合的な視点から広く社会に貢献しようと考えている人
5. 高等学校までの履修科目の基礎事項を理解し、その上で数学と英語の科目において特に優れた力を有する人

II 入学者選抜の基本方針

情報融合学環の入学試験ではアドミッション・ポリシーにふさわしい人材を選抜するために、一般選抜の他に学校推薦型選抜、私費外国人留学生選抜を実施しています。本学環の入試では、大学入学共通テスト、個別学力検査、調査書及び面接などを組み合わせて入学志願者の能力や資質を総合的に評価します。

III 選抜方法

【学校推薦型選抜II】

「知識・技能」については、大学入学共通テストを利用して高等学校の教育課程の教科・科目に関する総合的な学力を判定します。面接では、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を判定します。以上の判定結果を総合して入学者を選抜します。

※ 各選抜で特に重視するポイント（◎：特に大きい比重、○：大きい比重）

評価観点	学力の3要素			求める人材像 (アドミッション・ポリシー)		
	知識・技能 (基礎学力)	思考力、 判断力、 表現力	主体性、 多様性、 協働性	人間の幸福 や人間と環 境の融和に 対して問題 意識を持ち、 新時代の データ駆動 型イノベー ションの創 造に強い意 欲を持つ人	グローバル 社会で活躍 する意欲を もっている 人	数理・データ サイエンス・ AIの専門知 識を身につ け、総合的な 視点から広 く社会に貢 献しよう と考 えている 人
入試区分						
一般選抜（前期日程）	◎	◎	○	○	○	○
学校推薦型選抜II	◎	◎	○	◎	○	◎
私費外国人留学生選抜	◎	◎	○	◎	◎	◎

募集人員・出願方法

本学では、学校長（出願要件を満たす教育施設）の推薦に基づき、入学定員の一部について、次のとおり入学者選抜を実施します。

1. 募集人員

学部等	学科・課程・専攻		募集人員		
教育学部	学校教育教員養成課程	初等・中等教育コース	小学校専攻	30人	(一般枠) 10人 (地域枠) 10人 (理数枠) 10人
			理科専攻	5人	
			実技系専攻	10人	(2人程度)
	音楽	(1人程度)			
	美術	(3人程度)			
	保健体育	(2人程度)			
	技術	(2人程度)			
家庭	(2人程度)				
特別支援教育コース	6人				
養護教育コース	8人				
医学部	医学科		※ 23人	(一般枠) 5人 (地域枠) ※ 8人 (みらい医療枠) 10人	
		保健学科		看護学専攻 18人 放射線技術科学専攻 9人 検査技術科学専攻 9人	
		薬学科		15人	
	創薬・生命薬科学科		10人		
工学部	土木建築学科	(ア)	(イ)	26人	
	機械数理工学科			16人	
	情報電気工学科			20人	
	材料・応用化学科			27人	
	半導体デバイス工学課程			5人	
情報融合学環			15人	(一般枠) 7人 (女子枠) 8人	
	合計			252人	

(備考)

- 教育学部学校教育教員養成課程初等・中等教育コースの小学校専攻における学校推薦型選抜Ⅱは、一般枠、地域枠、理数枠を設定し、募集人員はそれぞれ10人とします。
教育学部学校教育教員養成課程初等・中等教育コースの実技系専攻における募集人員（ ）内人数は、それぞれの合格者数の目安を示しています。
教育学部学校教育教員養成課程初等・中等教育コースの実技系専攻（技術）の募集人員(2人程度)は、職業教育（工業・農業系）を主とする専門高校（学科）又は職業教育（工業・農業系）を主とする総合学科の出身者を対象としています。
- 医学部医学科（地域枠）の募集人員8人は、熊本県内高等学校の出身者または熊本県外高等学校の出身者（出願時において保護者が3年以上継続して熊本県内に在住している者）で熊本県医師修学資金の貸与を受ける者を対象としています。
医学部医学科（みらい医療枠）の募集人員10人は、熊本県内高等学校の出身者または熊本県外高等学校の出身者（出願時において保護者が3年以上継続して熊本県内に在住している者）で、卒業後の初期臨床研修終了後、熊本大学大学院医学教育部への進学又は熊本大学病院専門研修プログラムを履修する者を対象としています。
- 工学部（イ）の募集人員若干名は、工学部（ア）の募集人員の枠内とし、職業教育を主とする専門高校（学科）及び総合学科の出身者を対象としています。
- 情報融合学環の学校推薦型選抜Ⅱ募集人員には、データサイエンス、情報学に対する強い勉強意欲と将来を見据えた明確な勉強目的を持つことはもとより、従来の常識にとらわれずに新たなことに積極的にチャレンジし、多様な視点や優れた発想から、新たなイノベーション創出や社会の発展に貢献したいという意欲を持つ優秀な女子学生を対象とした学校推薦型選抜の募集人員（8人）を含みます（学校推薦型選抜Ⅱ（女子枠）と称します。）。
- 学校推薦型選抜の入学手続完了者が募集人員に満たない場合（合格者が募集人員に満たなかった場合も含む）は、その不足する人員を前期日程の募集人員に加えます（医学部医学科（地域枠）の募集人員（臨時定員）を除く。）。

※ 医学部医学科の募集人員について

地域における深刻な医師不足に対処するため、医学部医学科入学定員の増員が必要であると国から示されたことに対し、医学部医学科では、熊本県内の地域医療に志のある学生の入学を推進し、地域等における医師不足を解消することを目的として、令和 7 年度入試の入学定員 4 人の増員申請を行い、文部科学省大学設置・学校法人審議会において認可されました。これにより令和 7 年度入試の入学定員（募集人員）は 109 人となり、一般選抜（前期日程）86 人、学校推薦型選抜Ⅱ23 人（一般枠 5 人、地域枠 8 人、みらい医療枠 10 人）の募集人員とし、入学者選抜を実施します。

なお、今回の入学定員の増員は、令和 7 年度入試のみ適用され、臨時定員増員に関する令和 8 年度（2026 年度）入試以降の取扱いは、現時点では未定です。

本件については、内容が確定次第、本学ウェブサイトで情報を更新していきますので、随時確認するようにしてください。（<https://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/gakubunyushi> 参照）

◎ 工学部の教育プログラムについて

工学部では、4 学科・1 課程で学生を募集し、各学科・課程単位で選抜を行いますが、4 学科への入学者は 2 年次進級の際にさらに学科毎に 3 つの教育プログラムに分かれて所属します。各教育プログラムの受け入れ可能な人数には制約があり、教育プログラムへの配属は希望と 1 年次の成績に基づいて決定されます。同一学科内であっても、配属される教育プログラムによって取得可能な資格等に違いがありますので注意してください。

（<https://www.eng.kumamoto-u.ac.jp/department/> 参照）

◎ 情報融合学環のコース所属について

情報融合学環の入学者は、2 年次進級の際に 2 つのコースに分かれて所属します。各コースへの配属は、希望と 1 年次の成績に基づいて決定されます。

2. 出願方法

国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す選抜、課さない選抜を含めて）へ出願できるのは、一つの大学・学部・学科に限られています。

したがって、本学の学校推薦型選抜に出願した者は、他の国公立大学が実施する学校推薦型選抜に出願することはできません。

大学入学共通テスト教科・科目の確認表

学校推薦型選抜Ⅱの出願にあたっては、志望する学部（学科・課程・専攻等）及び学環の受験に必要な大学入学共通テストの教科・科目を受験しているか、以下の確認欄でチェックし、必ず各自で事前に確認をしてください。

受験している科目を塗りつぶして、確認をしてください。

新課程履修者用

志望学部等 チェック欄	大学入学共通テスト 教科・科目	国語		地理歴史 公民					数学			理 科						外 国 語				情報			
		国語	地理 総合、 地理探究	歴史 総合、 日本史探究	歴史 総合、 世界史探究	公共、 倫理	公共、 政治・ 経済	地理 総合／ 歴史総合 ／公共	数学 Ⅰ、 数学A	数学 Ⅱ、 数学B、 数学C	物理 基礎	化学 基礎	生物 基礎	地学 基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ 語	フランス 語	中国語	韓国語	情報 Ⅰ	
<input type="checkbox"/>	教育学部学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース 小学校専攻(一般枠・地域枠) 実技系専攻(音楽・美術・保健体育・ 家庭) 特別支援教育コース 養護教育コース	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(6教科又は7教科8科目)	1	1又は2 (ただし、2の場合、地理歴史 から1以上) 理科と合わせて3					1	1	1又は2 注) 地理歴史、公民と合わせて3						1				1					
<input type="checkbox"/>	教育学部学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース 小学校専攻(理数枠) 理科専攻	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(6教科8科目)	1	1					1	1	2 注)						1				1					
<input type="checkbox"/>	教育学部学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース 実技系専攻(技術)	○						○	○							○	○	○	○	○	○				
	(1教科1科目)	1 (※)						1 (※)							1 (※)										
		(※)の中から1																							
<input type="checkbox"/>	医学部医学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(6教科8科目)	1	1					1	1	2						1				1					
<input type="checkbox"/>	医学部保健学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(6教科8科目)	1	1					1	1	2						1				1					
<input type="checkbox"/>	薬学部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(6教科8科目)	1	1					1	1	化学と 物理、生物から1						1				1					
<input type="checkbox"/>	工学部(ア)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(6教科8科目)	1	1					1	1	2						1				1					
<input type="checkbox"/>	工学部(イ)								○	○							○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(3教科4科目)								1	1							1				1				
<input type="checkbox"/>	情報融合学環(文系型)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(6教科又は7教科8科目)	1	1又は2 (ただし、2の場合、地理歴史 から1以上) 理科と合わせて3					1	1	1又は2 注) 地理歴史、公民と合わせて3						1				1					
<input type="checkbox"/>	情報融合学環(理系型)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(6教科8科目)	1	1					1	1	2						1				1					

注) 「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」については、2つを選択解答することで「理科1科目」受験とする。
また、「理科」においては、同一名称のつく科目(例:物理基礎と物理)を選択することはできない。

旧課程履修者用

志望学部等 チエック欄	大学入学共通テスト 教科・科目		地理歴史					公民				数 学				理 科					外 国 語				情報					
	国語	国語	旧世界史A	旧世界史B	旧日本史A	旧日本史B	旧地理A	旧地理B	旧現代社会	旧倫理	旧政治・経済	旧倫理・政治・経済	旧数学I・旧数学A	旧数学II・旧数学B	旧簿記・会計	旧情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	旧情報
志望学部等 (受験科目数)																														
	教育学部学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース 小学校専攻(一般枠・地域枠) 実技系専攻(音楽・美術・保健体育・ 家庭) 特別支援教育コース 養護教育コース	○																												
(6教科又は7教科8科目)	1	1又は2 (ただし、2の場合、地理歴史から1以上) 理科と合わせて3										1	1	1又は2 注) 地理歴史、公民と合わせて3					1	1										
教育学部学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース 小学校専攻(理数枠) 理科専攻	○																													
	(6教科8科目)	1	1										1	1	2 注)					1	1									
教育学部学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース 実技系専攻(技術)	○																													
	1 (※)											1 (※)						1 (※)												
(1教科1科目)	(※)の中から1																													
医学部医学科	○																													
	(6教科8科目)	1	1										1	1	2					1	1									
医学部保健学科	○																													
	(6教科8科目)	1	1										1	1	2					1	1									
薬学部	○																													
	(6教科8科目)	1	1										1	1	化学と 物理、生物から1					1	1									
工学部 (ア)	○																													
	(6教科8科目)	1	1										1	1	2					1	1									
工学部 (イ)																														
	(3教科4科目)												1	1						1	1									
情報融合学環 (文系型)	○																													
	(6教科又は7教科8科目)	1	1又は2 (ただし、2の場合、地理歴史から1以上) 理科と合わせて3										1	1	1又は2 注) 地理歴史、公民と合わせて3					1	1									
情報融合学環 (理系型)	○																													
	(6教科8科目)	1	1										1	1	2					1	1									

注) 「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」については、2つを選択解答することで「理科1科目」受験とする。
また、「理科」においては、同一名称のつく科目(例:物理基礎と物理)を選択することはできない。

推薦・選抜方法等

1. 教育学部

(1) 募集人員

学校教育教員養成課程

初等・中等教育コース	小学校専攻 30人 (一般枠：10人、地域枠：10人、理数枠：10人)
	理科専攻 5人
	実技系専攻 10人 (音楽：2人程度、美術：1人程度、保健体育：3人程度、 技術：2人程度、家庭：2人程度)
特別支援教育コース	6人
養護教育コース	8人

(2) 推薦の要件

※学校推薦型選抜Ⅱの小学校専攻において、「地域枠」を第1志望として、「一般枠」を第2志望とすることを認めます。また、「理数枠」を第1志望として、「一般枠」を第2志望とすることを認めます。

○学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『小学校専攻（一般枠）』

志望専攻への入学の意志が強固な者で、次の1)～4)の全ての要件を満たすもの

1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和6年3月以降に卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
- ② 高等専門学校の第3学年を令和7年3月修了見込みの者
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和6年3月以降に修了した者又は令和7年3月修了見込みの者

2) 上記1)の教育施設における全体の学習成績の状況が3.7以上であって、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者

3) 令和7年度大学入学共通テストの6教科又は7教科8科目以上（「(3)選抜方法」参照）を受験した者

4) 合格した場合、入学することを確約できる者

○学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『小学校専攻（地域枠）』

志望専攻への入学の意志が強固な者で、次の1)～6)の全ての要件を満たすもの

推薦できるのは一つの学校から1人とします。

なお、本選抜を第1志望とし、学校推薦型選抜Ⅱ（一般枠）を第2志望とすることを認めます。

1) 熊本県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和6年3月以降に卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者

2) 上記1)の教育施設における全体の学習成績の状況が3.7以上である者

3) 将来、熊本県採用小学校教員として教職に就くことを強く希望し、学校のみならず地域社会に貢献しようとする強い意志を有する者

4) 熊本県内の各地域において情熱を持って勤務することを志し、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者

5) 令和7年度大学入学共通テストの6教科又は7教科8科目以上（「(3)選抜方法」参照）を受験した者

6) 合格した場合、入学することを確約できる者

※本選抜は、各地域の創生には資質・能力の高い小学校教員の円滑な確保が望まれること等を背景として実施するものです。

したがって、将来的に熊本県採用小学校教員として採用された後は、県内の各地域において勤務することを志し、地域経済や社会の変化、人口減少等の課題に対して教育面から解決し、新たな発展に貢献しようとする強い意欲等を持つ者を対象とします。

また、入学後は、熊本県の学校教育の状況や県内各地域の小学校の魅力を伝えることを目的とする講義や当該地域における教育実習等を履修することになります。

○学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『小学校専攻（理数枠）』

志望専攻への入学の意思が強固な者で、次の1)～6)の全ての要件を満たすもの

なお、本選抜を第1志望とし、学校推薦型選抜Ⅱ（一般枠）を第2志望とすることを認めます。

1) 次のいずれかに該当する者

① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和6年3月以降に卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者

② 高等専門学校の第3学年を令和7年3月修了見込みの者

③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和6年3月以降に修了した者又は令和7年3月修了見込みの者

2) 上記1)の教育施設における全体の学習成績の状況が3.7以上であって、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者

3) 将来、小学校教員として教職に就くことを強く希望し、特に、小学校の教科担任制における算数・理科の担当となることに強い意志を有する者

4) 入学後は、小学校の算数・理科の魅力を伝える授業の履修や、算数・理科に特化した探究活動を履修することを希望する者

5) 令和7年度大学入学共通テストの6教科8科目以上（「(3)選抜方法」参照）を受験した者

6) 合格した場合、入学することを確約できる者

※本選抜は、小学校の教員を目指し、算数・理科に関心があり、専門性を高めたいという意思のある学生を確保するために実施するものです。なお、将来的には、小学校高学年の教科担任制導入にも対応するものです。

本専攻を卒業すると、小学校の普通教員免許状を取得でき、算数や理科に限らず、小学校における全教科を教えることができます。

○学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『理科専攻』、養護教育コース

志望コース・専攻への入学の意志が強固な者で、次の1)～4)の全ての要件を満たすもの

1) 次のいずれかに該当する者

① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和6年3月以降に卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者

② 高等専門学校の第3学年を令和7年3月修了見込みの者

③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和6年3月以降に修了した者又は令和7年3月修了見込みの者

2) 上記1)の教育施設における全体の学習成績の状況が4.0以上であって、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者

3) 令和7年度大学入学共通テストの6教科又は7教科8科目以上（「(3)選抜方法」参照）を受験した者

4) 合格した場合、入学することを確約できる者

○学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『実技系専攻（音楽、美術、保健体育、家庭）』

志望専攻への入学の意志が強固な者で、次の1)～4)の全ての要件を満たすもの

- 1) 次のいずれかに該当する者
 - ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和6年3月以降に卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
 - ② 高等専門学校の第3学年を令和7年3月修了見込みの者
 - ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和6年3月以降に修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
- 2) 上記1)の教育施設における全体の学習成績の状況が3.7以上であって、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者
- 3) 令和7年度大学入学共通テストの6教科又は7教科8科目以上（「(3)選抜方法」参照）を受験した者
- 4) 合格した場合、入学することを確約できる者

○学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『実技系専攻（技術）』

職業教育（工業・農業系）を主とする専門高校（学科）又は職業教育（工業・農業系）を主とする総合学科を令和6年3月以降に卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者で、次の1)～3)の全ての要件を満たすもの

- 1) 職業教育（工業・農業系）を主とする専門高校（学科）又は職業教育（工業・農業系）を主とする総合学科における全体の学習成績の状況が3.7以上であって、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者
- 2) 令和7年度大学入学共通テストの1教科1科目以上（「(3)選抜方法」参照）を受験した者
- 3) 合格した場合、入学することを確約できる者

○学校教育教員養成課程 特別支援教育コース

志望コースへの入学の意志が強固な者で、次の1)～4)の全ての要件を満たすもの

- 1) 次のいずれかに該当する者
 - ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和6年3月以降に卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
 - ② 高等専門学校の第3学年を令和7年3月修了見込みの者
 - ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和6年3月以降に修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
- 2) 上記1)の教育施設における全体の学習成績の状況が3.7以上であって、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者
- 3) 令和7年度大学入学共通テストの6教科又は7教科8科目以上（「(3)選抜方法」参照）を受験した者
- 4) 合格した場合、入学することを確約できる者

(3) 選抜方法

○学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『小学校専攻（一般枠、地域枠、理数枠）』、特別支援教育コース

大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書及び面接の成績により総合的に判定します。

○学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『理科専攻』、養護教育コース

大学入学共通テスト、推薦書、調査書及び面接の成績により総合的に判定します。

○学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース 『実技系専攻（音楽、美術、保健体育、家庭）』

大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書、実技（音楽、美術、保健体育のみ）及び面接の成績により総合的に判定します。

○学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース 『実技系専攻（技術）』

大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書及び面接の成績により総合的に判定します。

大学入学共通テストで受験を要する教科・科目

課程・コース・専攻等	新教育課程による出題科目	旧教育課程履修者等に対する経過措置
学校教育教員養成課程	初等・中等教育コース 小学校専攻（一般枠） （地域枠） 実技系専攻 （音楽、美術、保健体育、家庭）	*旧教育課程履修者は、以下の経過措置科目を選択することができる。 地歴：旧世B、旧日B、 旧地理B から1又は2 } から 公民：旧現社、旧倫、 旧政経、 } 1 旧倫・旧政経から1 } 又は2
	特別支援教育コース	公民：公・倫、公・政経から1
	養護教育コース	数：旧数Ⅰ・旧数A……1 旧数Ⅱ・旧数B、 旧簿、旧情報基礎から1 理：物理基礎/化学基礎/ 生物基礎/地学基礎、 物理、化学、生物、地学 } から 1又は2 外：英、独、仏、中、韓から1 情：旧情報……1 [6教科又は7教科8科目] *「旧簿」及び「旧情報基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校（後期課程）等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の学科修了（見込み）者に限る。
	国：国語……1 地歴：地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探から1又は2 } から 1又は2 公民：公・倫、公・政経から1 数：数Ⅰ・数A……1 数Ⅱ・数B・数C……1 理：物理基礎/化学基礎/ 生物基礎/地学基礎、 物理、化学、生物、地学 } から 1又は2 外：英、独、仏、中、韓から1 情：情報Ⅰ……1 [6教科又は7教科8科目] *地歴と公民から1科目以上、理科から1科目以上とし、これらの教科の中から3科目受験すること。なお、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」については、2つを選択解答することで「理科1科目」受験とする。 また、「理科」においては、同一名称のつく科目（例：物理基礎と物理）を選択することはできない。	

<p>初等・中等教育コース 小学校専攻（理数枠） 理科専攻</p>	<p>国：国語……1</p> <p>地歴：地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探 } から1</p> <p>公民：公・倫、公・政経</p> <p>数：数Ⅰ・数A……1 数Ⅱ・数B・数C……1</p> <p>理：物理基礎/化学基礎/ 生物基礎/地学基礎、 物理、化学、生物、地学 } から2</p> <p>外：英、独、仏、中、韓から1</p> <p>情：情報Ⅰ……1</p> <p style="text-align: center;">[6教科8科目]</p> <p>*地歴と公民から1科目及び理科の「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」から2つ、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の5つの選択肢から2つを受験すること。 なお、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」については、2つを選択解答することで「理科1科目」受験とする。 また、「理科」においては、同一名称のつく科目（例：物理基礎と物理）を選択することはできない。</p>	<p>地歴：旧世B、旧日B、 旧地理B } から1</p> <p>公民：旧現社、旧倫、 旧政経、 旧倫・旧政経 } から1</p> <p>数：旧数Ⅰ・旧数A……1 旧数Ⅱ・旧数B、 旧簿、旧情報基礎から1</p> <p>情：旧情報……1</p> <p>*「旧簿」及び「旧情報基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校（後期課程）等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の学科修了（見込み）者に限る。</p>
<p>初等・中等教育コース 実技系専攻（技術）</p>	<p>国：国語 } から1</p> <p>数：数Ⅰ・数A、 数Ⅱ・数B・数C</p> <p>外：英、独、仏、中、韓</p>	<p>数：旧数Ⅰ・旧数A、 旧数Ⅱ・旧数B、 旧簿、旧情報基礎</p> <p>*「旧簿」及び「旧情報基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校（後期課程）等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の学科修了（見込み）者に限る。</p>

- (注) 1. 「地歴」と「公民」及び「理科」について、指定数以上の教科・科目を解答している者の成績は、第1解答科目を採用します。
2. 「地歴」及び「公民」において、2科目選択する場合、「公・倫」と「公・政経」の組合せを選択することはできません。
3. 「外国語」において「英語」を選択する受験者は、リーディングとリスニングの双方を解答しなければなりません（リスニングの免除を許可された者を除く。）。
4. 学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『小学校専攻』『理科専攻』『実技系専攻（音楽、美術、保健体育、家庭）』、特別支援教育コース及び養護教育コースにおいて、「地歴」と「公民」及び「理科」の教科について、4科目を受験している者は、各々の教科の第1解答科目を採用し、第2解答科目のうち高得点の科目を

採用します。（教育学部学校教育教員養成課程初等・中等教育コース『理科専攻』及び『理科専攻』志望者の選考では、理科 2 科目と「地歴」と「公民」の第 1 解答科目を採用します。）また、「理科」においては、「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」において選択した 2 つと、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の 4 科目から選択した 1 科目は、同一名称のつく科目（例：物理基礎と物理）にすることはできません。この組み合わせで受験した場合は、第 2 解答科目を「0 点」として取り扱いいます。

5. 学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『実技系専攻（技術）』において、指定数以上の科目を受験している者の成績は、高得点の科目を採用します。
6. 学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『小学校専攻』『理科専攻』『実技系専攻（音楽、美術、保健体育、家庭）』、特別支援教育コース及び養護教育コースにおいて、「地歴」と「公民」について、第 1 解答科目が教育学部の指定した利用教科・科目でなく、第 2 解答科目が教育学部の指定した利用教科・科目である場合は、当該利用教科・科目を「0 点」として取り扱いいます。

実技検査の内容

初等・中等教育コース 『実技系専攻（音楽、美術、保健体育）』

教科	検査内容
音楽	<p>全員が次の 1～4 の試験を受けること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 楽典 2. 新曲視唱 3. 音階：長・短両調の音階奏法（ピアノ演奏による） ト長調（ホ短調）、ニ長調（ロ短調）、ヘ長調（ニ短調）、変ロ長調（ト短調）のうち、当日 1 つを指定する。（ハノン《ピアノ教則本》No. 39 を参照、両調とも繰り返しは省く。短調は和声的短音階に続けて旋律的短音階を弾き、その後カデンツを演奏すること。） 4. 専門課題 次の (A)～(D) のうち 1 つを選択すること。 (A) ピアノ課題：L. v. Beethoven (Op. 49, No. 1, 2; Op. 27, No. 2 を除く。) ピアノ・ソナタより任意の曲の第 1 楽章（繰り返しは省く。） (B) 声楽課題：イタリア歌曲、ドイツ歌曲、日本歌曲（日本の伝統音楽の歌を含む。）等の声楽曲から任意の 1 曲 (C) 邦楽器を含む任意の弦楽器、管楽器、打楽器課題：任意の 1 曲 (D) 即興演奏、諸民族の音楽等、楽譜のないジャンルの音楽課題：5 分程度 <p>(注)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 上記の 4. 専門課題については出願時に演奏曲目調書を提出する。 その際、(A)～(C) を選択した場合、演奏する曲の楽譜を 2 部、氏名を記載して提出すること。 (D) を選択した場合、演奏に用いる楽器等を含め、その内容について調書に説明を記載すること。また、(C) あるいは (D) を選択した場合、演奏する楽器は各自持参すること。演奏曲は、ピアノ伴奏付き楽曲であっても、伴奏無しで演奏すること。 2. 演奏は原則暗譜とする。 3. ピアノ伴奏者は本学で用意する。志願者が伴奏者を同伴することは認めない。
美術	<p>木炭による素描（180 分） * 入学志願者は、画用木炭、消具を準備すること。 その他の材料等は全て大学で用意する。</p>
保健体育	<p>器械（マット）運動、および走・跳・投運動に関する基礎的運動能力の実技試験を課す。 * 入学志願者は、実技に必要な体育館シューズ、服装等は全て各自で準備すること。</p>

(4) 評価基準・配点

1) 評価基準

【面接】

- ① 学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『小学校専攻（一般枠、地域枠、理数枠）』
出願書類（推薦書、調査書等）を参考にしながら、志望動機や自己の目標、高校生活等の活動状況、小学校教員としての教職への意欲などからアドミッション・ポリシーへの適合性について評価します。複数の面接官による個人面接を実施します。
また、地域枠においては、熊本県内の各地域への教育に対する熱意及び当該地域の小学校教員として定着できる可能性等の観点から資質等を評価します。
- ② 学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『理科専攻』
出願書類（推薦書、調査書等）を参考にしながら、理科に必要な基礎知識、高校生活等の活動状況、自己の目標や意欲、表現力などの観点からアドミッション・ポリシーへの適合性について評価します。複数の面接官による個人面接を実施します。
- ③ 学校教育教員養成課程初等・中等教育コース『実技系専攻（音楽、美術、保健体育）』
出願書類（推薦書、調査書等）を参考にしながら、音楽・美術・保健体育の各教科に必要な基礎知識、高校生活等の活動状況、自己の目標や意欲、表現力などの観点からアドミッション・ポリシーへの適合性について評価します。複数の面接官による個人面接を実施します。
- ④ 学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『実技系専攻（技術）』
出願書類（推薦書、調査書等）を参考にしながら、志望動機や自己の目標、技術に関する興味・関心や理解度、技術科に必要な基礎知識、高校生活等の活動状況、教職への意欲などからアドミッション・ポリシーへの適合性について評価します。複数の面接官による個人面接を実施します。
- ⑤ 学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『実技系専攻（家庭）』
出願書類（推薦書、調査書等）を参考にしながら、志望動機や自己の目標、家庭科の内容に関する興味・関心や基礎知識、高校生活等の活動状況、教職への意欲などからアドミッション・ポリシーへの適合性について評価します。複数の面接官による個人面接を実施します。
- ⑥ 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース
出願書類（推薦書、調査書等）を参考にしながら、志望動機や自己の目標、特別支援に関する興味・関心や理解度、ボランティア経験等の活動状況、教職への意欲などからアドミッション・ポリシーへの適合性について評価します。複数の面接官による個人面接を実施します。
- ⑦ 学校教育教員養成課程 養護教育コース
出願書類（推薦書、調査書等）を参考にしながら、保健に関する興味・関心、理解の度合いなどの観点からアドミッション・ポリシーへの適合性について評価します。複数の面接官による個人面接を実施します。

【調査書等】

就学状況、学業成績、資格取得状況、クラブ活動や社会的活動等を評価します。

【実技検査】

初等・中等教育コース『実技系専攻（音楽、美術、保健体育のみ）』

- | | | |
|------|------|--------------------------|
| 音 楽 | ———— | 基礎的知識・能力及び技術力・表現力を評価します。 |
| 美 術 | ———— | 観察力、造形力、表現力、思考力を評価します。 |
| 保健体育 | ———— | 基礎的運動能力を評価します。 |

2) 配点

課程・コース等		大学入学共通テスト						個別学力検査等			合計	
		教科・科目等						計	面接	実技		計
		国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	情報					
学校教育 教員養成 課程	初等・中等教育コース 小学校専攻（一般枠、地域枠） 特別支援教育コース	200	*100 /200	200	*100/ 200	200	100	/	100	/	100	100
	8科目合計（1000点）の概ね6割以上											
	初等・中等教育コース 小学校専攻（理数枠） 理科専攻	/	/	200	200	200	/	200 （注3）	100	/	100	300
	8科目合計（1000点）の概ね6割以上											
	初等・中等教育コース 実技系専攻（音楽）	200	*100 /200	200	*100/ 200	200	100	500 （注4）	100	400	500	1000
	初等・中等教育コース 実技系専攻 （美術、保健体育）	200	*100 /200	200	*100/ 200	200	100	500 （注4）	100	300	400	900
	初等・中等教育コース 実技系専攻（技術）	*200	/	*200	/	*200	/	200	300	/	300	500
1教科1科目選択												
初等・中等教育コース 実技系専攻（家庭）	200	*100 /200	200	*100/ 200	200	100	1000	200	/	200	1200	
養護教育コース	200	*100 /200	200	*100/ 200	200	100	1000	300	/	300	1300	

- (注) 1. * が付してある教科・科目は、選択教科・科目を示します。
 2. 大学入学共通テストで受験を要する教科・科目については、「(3) 選抜方法」の表（18～19ページ）を参照してください。
 3. 学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『小学校専攻（理数枠）』及び『理科専攻』の大学入学共通テストの点数は、8科目合計（1000点）の概ね6割以上を得た者を対象に、数学・理科・外国語の合計点（600点）を200点に換算します。
 4. 学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『実技系専攻（音楽、美術、保健体育）』の大学入学共通テスト（8科目）の点数は、合計点（1000点）を500点に換算します。
 5. 大学入学共通テストで課す「外国語『英語』」については、リーディング100点満点を200点満点に、リスニング100点満点を50点満点に換算し、その合計点を200点満点に圧縮したうえで、各コース・専攻における配点のとおり換算します。
 なお、リスニング免除者及び英語以外の「外国語」受験者については、リーディング100点満点を200点満点に換算し、各コース・専攻における配点のとおり換算します。

(5) 合否判定基準

- 1) 学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『小学校専攻（一般枠、地域枠）』及び特別支援教育コースの志望者については、令和7年度大学入学共通テストの6教科又は7教科8科目以上を受験し、かつ、8科目合計点の概ね6割以上を得た者を対象に、面接点の高得点順に合格者を決定します。
 なお、面接の成績が同点の場合は、大学入学共通テストの成績を優先して順位を決定します。

2) 学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『小学校専攻（理数枠）』及び『理科専攻』の志望者については、令和7年度大学入学共通テストの6教科8科目以上を受験し、かつ、**8科目合計点の概ね6割以上を得た者を対象に**、大学入学共通テスト（「数学」、「理科」、「外国語」の合計点を200点に換算）と面接の合計点の高得点順に合格者を決定します。

なお、合計得点が同点の場合は、**面接の成績を優先して**順位を決定します。

3) 学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『実技系専攻（音楽、美術、保健体育）』の志望者については、令和7年度大学入学共通テストの6教科又は7教科8科目以上を受験した者を対象に、大学入学共通テスト（1000点満点を500点満点に換算）と実技、面接の合計点の高得点順に合格者を決定します。

なお、合計得点が同点の場合は、**実技の成績を優先して**順位を決定します。

4) 学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『実技系専攻（技術）』の志望者については、令和7年度大学入学共通テストの3教科中1科目を受験した者を対象に、大学入学共通テストと面接の合計点の高得点順に合格者を決定します。

なお、合計得点が同点の場合は、**面接の成績を優先して**順位を決定します。

5) 学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『実技系専攻（家庭）』及び養護教育コースの志望者については、令和7年度大学入学共通テストの6教科又は7教科8科目以上を受験した者を対象に、大学入学共通テストと面接の合計点の高得点順に合格者を決定します。

なお、学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『実技系専攻（家庭）』の志望者については、合計得点が同点の場合は、**面接の成績を優先して**順位を決定します。

※併願を認める学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『小学校専攻（一般枠、地域枠、理数枠）』においては、それぞれの枠ごとに、第1志望、第2志望の全受験者を併せて総合得点順に並べ、得点上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。

なお、評価基準が異なるため、地域枠及び理数枠の面接の得点は、一般枠の面接の得点と異なる場合があります。

※学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『小学校専攻（一般枠、地域枠、理数枠）』において、面接の得点が6割未満の場合は不合格となります。

(6) 試験日時等

1) 日 時 令和7年2月8日（土）

	課程・コース等	集合時間	集合場所
学校教育教員養成課程	初等・中等教育コース 小学校専攻（一般枠、地域枠、理数枠） 実技系専攻（音楽、美術、保健体育、技術） 特別支援教育コース	9時00分	教育学部入口前
	養護教育コース	11時30分	
	初等・中等教育コース 理科専攻 実技系専攻（家庭）	12時00分	

※学校教育教員養成課程初等・中等教育コース『実技系専攻（音楽、美術、保健体育）』の受験者は「面接」の他に「実技検査」を受験する必要があります。

「面接」及び「実技検査」の時間については、受験票送付の際にお知らせします。

2) 試験場 熊本大学教育学部 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号

- (注) 1. 学校教育教員養成課程 初等・中等教育コース『小学校専攻』、『実技系専攻（音楽、美術、保健体育）』及び特別支援教育コースの受験者は、面接の順番等により昼食が必要となる場合があります。
2. インターネット出願システムから出力した本学の受験票（学校推薦型選抜Ⅱ用）及び「大学入学共通テスト受験票」を持参してください。

[本件に関する問合せ先]

熊本大学人社・教育系事務課 教育学部教務担当 電話：096-342-2522

2. 医学部 医学科（一般枠）

（1）募集人員

医学科 5人

（2）推薦の要件

推薦人員は、一つの学校から1人とします。ただし、熊本県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県の学校については、2人以内とします。

なお、学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）及び（みらい医療枠）との併願はできません。

志望学科への入学の意志が強固な者で、次の1）～4）の全ての要件を満たすもの

1）次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者（令和6年度中に卒業を認められる者を含む。）
- ② 高等専門学校の第3学年を令和7年3月修了見込みの者
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和7年3月修了見込みの者（令和6年度中に修了を認められる者を含む。）

2）上記1）の教育施設における学習成績の状況が4.0以上であって、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者

3）令和7年度大学入学共通テストの6教科8科目以上（「（3）選抜方法」参照）を受験した者

4）合格した場合、入学することを確約できる者

（3）選抜方法

大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書（800字程度）、小論文及び面接の成績により総合的に判定します。

大学入学共通テストで受験を要する教科・科目

学 科	新教育課程による出題科目	旧教育課程履修者等に対する経過措置
医学科	国 : 国語……1 地歴 : 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探 } から 1 公民 : 公・倫、公・政経 数 : 数Ⅰ・数A……1 数Ⅱ・数B・数C……1 理 : 物理、化学、生物から 2 外 : 英、独、仏、中、韓から 1 情 : 情報Ⅰ……1 [6教科8科目]	*旧教育課程履修者は、以下の経過措置科目を選択することができる。 地歴 : 旧世B、旧日B、旧地理B 公民 : 旧現社、旧倫、旧政経、旧倫・旧政経 } から 1 数 : 旧数Ⅰ・旧数A……1 旧数Ⅱ・旧数B、旧簿、旧情報基礎から 1 情 : 旧情報……1 *「旧簿」及び「旧情報基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校（後期課程）等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の学科修了（見込み）者に限る。

- (注) 1. 「地歴」と「公民」について、指定数以上の教科・科目を解答している者の成績は、第1解答科目を採用します。
2. 「外国語」において「英語」を選択する受験者は、リーディングとリスニングの双方を解答しなければなりません(リスニングの免除を許可された者を除く。)
3. 「地歴」と「公民」について、第1解答科目が医学科の指定した利用教科・科目でなく、第2解答科目が医学科の指定した利用教科・科目である場合は、当該利用教科・科目を「0点」として取り扱います。

(4) 評価基準・配点

1) 評価基準

【小論文】

医学科の教育を受けるために必要な分析力、読解力、問題解決能力、活用力等を測ります。

【面接】

医学科の教育を受けるために必要な基礎学力、科学的・知的探究心、医学に対する熱意と適性、柔軟な思考力、高等学校における活動状況を参考とします。

調査書、推薦書及び志望理由書を参考にしながら、複数の面接官による個人面接を実施します。

2) 配点

区分 学科	大学入学共通テスト							個別学力検査等			合計
	教科・科目等						計	小論文	面接	計	
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報					
医学科	200	100	200	200	200	100	100	15	15	30	130
8科目合計点(1000点)を100点に換算する											

※大学入学共通テストで課す「外国語『英語』」については、リーディング100点満点を200点満点に、リスニング100点満点を50点満点に換算し、その合計点を200点満点に圧縮したうえで、学科における配点のとおり換算します。

なお、リスニング免除者及び英語以外の「外国語」受験者については、リーディング100点満点を200点満点に換算し、学科における配点のとおり換算します。

(5) 合否判定基準

- 1) 令和7年度大学入学共通テストの **6教科8科目以上を受験し、かつ、原則として8科目合計点の80%以上を得た者を対象に、**総得点の高い順に募集人員の範囲で合格者を決定します。
- 2) 面接について、複数の面接官が最低の評価点を与えた場合、合格としません。

(6) 試験日時等

- 1) 日時 令和7年2月8日(土) 集合時間 9時00分
- 2) 試験場 熊本大学医学部医学科 熊本市中央区本荘1丁目1番1号

※ インターネット出願システムから出力した本学の受験票(学校推薦型選抜Ⅱ用)及び「大学入学共通テスト受験票」を持参してください。

[本件に関する問合せ先]

熊本大学医薬保健学系事務課医学事務チーム教務担当 電話：096-373-6832

3. 医学部 医学科（地域枠）

※地域枠については、当該枠の趣旨及び令和6年度入学者から適用している「診療科推奨制度」について十分にご理解の上受験していただくために、出願に際して以下のいずれかを満たしているかをご確認の上、出願手続をお願いいたします。

① 熊本大学医学部医学科オープンキャンパスにおける地域枠説明会への出席

（令和6年8月2日開催）

② ①の説明会の録画配信の視聴

<https://www.medphas.kumamoto-u.ac.jp/medical/department/medical/admission-opencampus2024-html/>

（1）募集人員

医 学 科

8 人

（2）推薦の要件

熊本県内の高等学校が推薦できる人数は、一つの学校から4人以内とします。

熊本県外の高等学校が推薦できる人数は、一つの学校から3人以内とし、出願時において保護者（注1）が3年以上継続して熊本県内に在住（住民登録）している者を対象とします。

なお、学校推薦型選抜Ⅱ（一般枠）及び（みらい医療枠）との併願はできません。

志望学科への入学の意志が強固、かつ将来、熊本県の地域医療を目指す者で、次の1）～4）までの全ての要件を満たすもの

1）高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和5年3月以降に卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者

2）上記1）の教育施設における学習成績の状況が4.0以上であって、将来、熊本県の地域医療において中心的役割を担う人材であると判断でき、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者

3）令和7年度大学入学共通テストの6教科8科目以上（「（3）選抜方法」参照）を受験した者

4）合格した場合、熊本県医師修学資金の貸与を受け入学し、在学中は継続して貸与を受けることを確約できる者（注2）

5）合格した場合、卒業後、専門領域として選択する診療科について、以下のいずれかのもを推奨されていることを十分に理解の上、入学することができる者

【選択を推奨する診療科】

総合診療科、救急科、内科、外科、小児科、産婦人科、整形外科

※いずれも新専門医制度の基本領域における診療科を指す。

（注1）熊本大学における保護者の定義は、次のとおりとします。（学校教育法から引用）

子に対して親権を行う者（親権を行う者のないときは、未成年後見人）をいう。

（注2）卒業後の決められた一定期間、熊本県知事が指定する地域の病院等で勤務していただきます（30ページ参照）。

（3）選抜方法

大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書（地域医療に対する抱負や意見について800字程度）及び面接の成績により総合的に判定します。

大学入学共通テストで受験を要する教科・科目

学 科	新教育課程による出題科目	旧教育課程履修者等に対する経過措置
医学科	国 : 国語……1 地歴 : 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探 } から 1 公民 : 公・倫、公・政経 } 数 : 数Ⅰ・数A……1 数Ⅱ・数B・数C……1 理 : 物理、化学、生物から 2 外 : 英、独、仏、中、韓から 1 情 : 情報Ⅰ……1 [6 教科 8 科目]	*旧教育課程履修者は、以下の経過措置科目を選択することができる。 地歴 : 旧世B、旧日B、旧地理B } から 1 公民 : 旧現社、旧倫、旧政経、旧倫・旧政経 } 数 : 旧数Ⅰ・旧数A……1 旧数Ⅱ・旧数B、旧簿、旧情報基礎から 1 情 : 旧情報……1 *「旧簿」及び「旧情報基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校（後期課程）等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の学科修了（見込み）者に限る。

- (注) 1. 「地歴」と「公民」について、指定数以上の教科・科目を解答している者の成績は、第 1 解答科目を採用します。
2. 「外国語」において「英語」を選択する受験者は、リーディングとリスニングの双方を解答しなければなりません（リスニングの免除を許可された者を除く。）。
3. 「地歴」と「公民」について、第 1 解答科目が医学科の指定した利用教科・科目でなく、第 2 解答科目が医学科の指定した利用教科・科目である場合は、当該利用教科・科目を「0 点」として取り扱います。

(4) 評価基準・配点

1) 評価基準

【面接】

医学科の教育を受けるために必要な基礎学力、科学的・知的探究心、医学（地域医療を含む）に対する熱意と適性、柔軟な思考力、高等学校における活動状況を参考とします。

調査書、推薦書及び志望理由書を参考にしながら、複数の面接官による個人面接を実施します。

2) 配点

区分 学科	大学入学共通テスト						個別学力検査等		合計	
	教科・科目等						計	面接		計
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報				
医学科	200	100	200	200	200	100	100	30	30	130
8 科目合計点 (1000 点) を 100 点に換算する										

※大学入学共通テストで課す「外国語『英語』」については、リーディング 100 点満点を 200 点満点に、リスニング 100 点満点を 50 点満点に換算し、その合計点を 200 点満点に圧縮したうえで、学科における配点のとおり換算します。

なお、リスニング免除者及び英語以外の「外国語」受験者については、リーディング 100 点満点を 200 点満点に換算し、学科における配点のとおり換算します。

(5) 合否判定基準

- 1) 令和 7 年度大学入学共通テストの **6 教科 8 科目以上を受験し、かつ、原則として 8 科目合計点の 78% 以上を得た者を対象に、**総得点の高い順に募集人員の範囲で合格者を決定します。
- 2) 面接について、複数の面接官が最低の評価点を与えた場合、又は面接点の合計点が一定基準を超えなかった場合は、合格としません。

(6) 試験日時等

- 1) 日 時 令和7年2月8日(土) 集合時間 12時30分
- 2) 試験場 熊本大学医学部医学科 熊本市中央区本荘1丁目1番1号

※ インターネット出願システムから出力した本学の受験票(学校推薦型選抜Ⅱ用)及び「大学入学共通テスト受験票」を持参してください。

[本件に関する問合せ先]

熊本大学医薬保健学系事務課医学事務チーム教務担当 電話：096-373-6832

「熊本県医師修学資金」について

熊本大学医学部医学科学学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）による合格者は、熊本県医師修学資金の貸与を受けていただきます。

（1）制度の概要

熊本県医師修学資金貸与制度は、医師が不足している地域の医師確保を目的とした制度です。

貸与を受けた方は、大学卒業後、貸与を受けた期間の2分の3に相当する期間（6年間貸与を受けた場合は9年間）、熊本県知事が指定する医師が不足する地域の病院等（知事指定病院等（※1））で勤務していただきます。（この期間には、熊本県内の基幹型臨床研修病院で行う2年間の臨床研修と、熊本県内の医療機関で行う1年間の後期研修の期間を含みます。）必要な勤務期間を満了すると、貸与を受けた修学資金の返還が全額免除されます。（※2）

※1-1 知事指定病院等

- 1. 臨床研修
県内の基幹型臨床研修病院
- 2. 臨床研修修了後
知事が指定する右の第1～3グループの医療機関
(令和6年4月時点)

【第1グループ】

圏域	医療機関名
有明	①有明医療センター ②くまもと県北病院
鹿本	③山鹿市民医療センター
菊池	④熊本再春医療センター
八代	⑤熊本労災病院 ⑥熊本総合病院
芦北	⑦水俣市立総合医療センター
球磨	⑧人吉医療センター
天草	⑨天草地域医療センター ⑩天草中央総合病院

【第3グループ（うち病院）】

圏域	医療機関名
熊本	⑱こころの医療センター
宇城	⑳熊本南病院 ㉑こども総合療育センター ㉒済生会みすみ病院
有明	㉓和水町立病院
菊池	㉔菊池郡市医師会立病院 ㉕菊池病院
八代	㉖八代市医師会立病院 ㉗八代北部地域医療センター
天草	㉘牛深市民病院 ㉙苓北医師会病院

※1-2

第1～3グループの医療機関においては、次のとおり勤務していただきます。

- 第1グループ：2年間以内
- 第2グループ：2年間以上
- 第3グループ：残りの期間
(グループ間の順序は変更可)

【第2グループ】

圏域	医療機関名
阿蘇	⑪阿蘇医療センター ⑫小国公立病院
上益城	⑬そよう病院
球磨	⑭公立多良木病院
天草	⑮上天草総合病院 ⑯河浦病院 ⑰新和病院 ⑱栖本病院

【第3グループ（うち診療所）】

圏域	医療機関名
阿蘇	⑳産山村診療所
八代	㉑椎原診療所
天草	㉒湯島へき地診療所 ㉓御所浦診療所

※1-3

第3グループのうち、診療所で勤務した期間は、第2グループで勤務した期間とみなします。

※1-4

知事指定病院等は、各地域の医師不足の状況等により変更になる可能性があります。

※2 知事指定病院等で医師業務に従事しなかった場合等、被貸与者となった後、熊本県医師修学資金貸与条例第8条第1項に規定する事項に該当した場合、貸与を受けた修学資金の額に利息を加えた額を一定期間内に一括して返還する必要が生じますのでご注意ください。

（2）貸与額

入学料相当額：282,000円（入学年度のみ）、授業料相当額：535,800円（年額）、生活費相当額：75,000円（月額）
(6年間で約900万円の貸与となります。)

※ 志願時同意書の提出

熊本大学医学部医学科学学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）の志願に当たり、以下の事項に同意の上、同意書を提出していただきます。

1. 熊本県医師修学資金貸与条例（以下「条例」という。）に基づき修学資金の貸与を受けることになったときは、卒業後、修学資金の貸与を受けた期間の2分の3に相当する期間、条例及び熊本県医師修学資金貸与条例施行規則に規定する知事が指定する病院等において、医師としての業務に従事すること。
2. 上記1の勤務については、臨床研修（条例に規定する臨床研修をいう。）修了時に公表されている熊本県医師修学資金貸与医師キャリア形成プログラムの中から選択したコースに沿って行うこと。
3. 死亡又は傷病等で県がやむを得ないと認める事由により本人が医師業務に従事できなくなったとき以外は、県は上記1及び2の従事要件からの離脱に同意しないこと。

～熊本県医師修学資金の詳しい内容については、以下の問合せ先へお尋ねください～
〔問合せ先〕熊本県医療政策課（電話）096-333-2204

4. 医 学 部 医 学 科 (みらい医療枠)

※「みらい医療枠」は、将来、未来医療・先進医療のリーダーとなる医師又はリサーチマインドに富む臨床医を育成し、国内外の医学研究・医療を牽引する人材を輩出することを目的に学生を募集しています。

当該枠での入学者については、1年次から研究を開始し、学びたいテーマで講義をデザインするなど、先進医療を学ぶためのカリキュラムを履修予定です。

(1) 募集人員

医 学 科 10 人

(2) 推薦の要件

推薦人員は、一つの学校から4人以内とします。

なお、熊本県外の高等学校からの推薦にあたっては、出願時において保護者（注）が3年以上継続して熊本県内に在住（住民登録）している者を対象とします。

また、学校推薦型選抜Ⅱ（一般枠）及び（地域枠）との併願はできません。

熊本における未来の医学・医療を担う強い意欲を持つ者で、志望学科への入学の意志が強固、かつ次の1)～4)の全ての要件を満たすもの

1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者（令和6年度中に卒業を認められる者を含む。）
- ② 高等専門学校の第3学年を令和7年3月修了見込みの者
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和7年3月修了見込みの者（令和6年度中に修了を認められる者を含む。）

2) 人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者

3) 令和7年度大学入学共通テストの6教科8科目以上（「(3) 選抜方法」参照）を受験した者

4) 合格した場合、卒業後の初期臨床研修終了後、熊本大学大学院医学教育部への進学又は熊本大学病院専門研修プログラムの履修（熊本大学病院及びその関連施設での勤務）が確約できる者

（注）熊本大学における保護者の定義は、次のとおりとします。（学校教育法から引用）

子に対して親権を行う者（親権を行う者のないときは、未成年後見人）をいう。

(3) 選抜方法

大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書（みらい医療枠に対する抱負や意見について800字程度）、小論文及び面接の成績により総合的に判定します。

大学入学共通テストで受験を要する教科・科目

学 科	新教育課程による出題科目	旧教育課程履修者等に対する経過措置
医学科	国 : 国語……1 地歴 : 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探 } から 1 公民 : 公・倫、公・政経 }	*旧教育課程履修者は、以下の経過措置科目を選択することができる。 地歴 : 旧世B、旧日B、旧地理B } から 1 公民 : 旧現社、旧倫、旧政経、旧倫・旧政経 } 数 : 旧数I・旧数A……1 旧数II・旧数B、旧簿、旧情報基礎から 1 理 : 物理、化学、生物から 2 外 : 英、独、仏、中、韓から 1 情 : 情報I……1 [6教科8科目]

- (注) 1. 「地歴」と「公民」について、指定数以上の教科・科目を解答している者の成績は、第1解答科目を採用します。
2. 「外国語」において「英語」を選択する受験者は、リーディングとリスニングの双方を解答しなければなりません（リスニングの免除を許可された者を除く。）。
3. 「地歴」と「公民」について、第1解答科目が医学科の指定した利用教科・科目でなく、第2解答科目が医学科の指定した利用教科・科目である場合は、当該利用教科・科目を「0点」として取り扱います。

(4) 評価基準・配点

1) 評価基準

【小論文】

医学科の教育を受けるために必要な分析力、読解力、問題解決能力、活用力等を測ります。

【面接】

医学科の教育を受けるために必要な基礎学力、科学的・知的探究心、「柔軟な思考力」、熊本における未来の医学・医療を担う熱意と適性、高等学校における活動状況を参考とします。

調査書、推薦書及び志望理由書を参考にしながら、複数の面接官による個人面接を実施します。

2) 配点

区分 学科	大学入学共通テスト						個別学力検査等			合計	
	教科・科目等						計	小論文	面接		計
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報					
医学科	200	100	200	200	200	100	100	15	15	30	130
8科目合計点(1000点)を100点に換算する											

※大学入学共通テストで課す「外国語『英語』」については、リーディング100点満点を200点満点に、リスニング100点満点を50点満点に換算し、その合計点を200点満点に圧縮したうえで、学科における配点のとおり換算します。

なお、リスニング免除者及び英語以外の「外国語」受験者については、リーディング100点満点を200点満点に換算し、学科における配点のとおり換算します。

(5) 合否判定基準

- 1) 令和7年度大学入学共通テストの 6教科8科目以上を受験し、かつ、原則として8科目合計点の80%以上を得た者を対象に、総得点の高い順に募集人員の範囲で合格者を決定します。
- 2) 面接について、複数の面接官が最低の評価点を与えた場合、又は面接点の合計点が一定基準を超えなかった場合は、合格としません。

(6) 試験日時等

- 1) 日 時 令和7年2月8日(土) 集合時間 9時00分
- 2) 試験場 熊本大学医学部医学科 熊本市中央区本荘1丁目1番1号

※ インターネット出願システムから出力した本学の受験票(学校推薦型選抜Ⅱ用)及び「大学入学共通テスト受験票」を持参してください。

[本件に関する問合せ先]

熊本大学医薬保健学系事務課医学事務チーム教務担当 電話：096-373-6832

5. 医 学 部 保 健 学 科

(1) 募集人員

看護学専攻	18 人
放射線技術科学専攻	9 人
検査技術科学専攻	9 人

(2) 推薦の要件

○看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻

志望専攻への入学の意志が強固な者で、次の1)～4)の全ての要件を満たすもの

1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和5年3月以降に卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
- ② 高等専門学校の第3学年を令和7年3月修了見込みの者
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年3月以降に修了した者及び令和7年3月修了見込みの者

2) 上記1)の教育施設における全体の学習成績の状況が4.0以上であって、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者

3) 令和7年度大学入学共通テストの6教科8科目以上（「(3) 選抜方法」参照）を受験した者

4) 合格した場合、入学することを確約できる者

(3) 選抜方法

大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書及び面接の成績により総合的に判定します。

大学入学共通テストで受験を要する教科・科目

専 攻	新教育課程による出題科目	旧教育課程履修者等に対する経過措置
看護学専攻	国 : 国語……1	*旧教育課程履修者は、以下の経過措置科目を選択することができる。
放射線技術科学専攻	地歴 : 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探 公民 : 公・倫、公・政経 } から 1	地歴 : 旧世B、旧日B、旧地理B 公民 : 旧現社、旧倫、旧政経、旧倫・旧政経 } から 1
検査技術科学専攻	数 : 数Ⅰ・数A……1 数Ⅱ・数B・数C……1	数 : 旧数Ⅰ・旧数A……1 旧数Ⅱ・旧数B、旧簿、旧情報基礎から 1
	理 : 物理、化学、生物から 2 外 : 英、独、仏、中、韓から 1 情 : 情報Ⅰ……1	情 : 旧情報……1
	[6 教科 8 科目]	*「旧簿」及び「旧情報基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校（後期課程）等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の学科修了（見込み）者に限る。

(注) 1. 「地歴」と「公民」について、指定数以上の教科・科目を解答している者の成績は、第1解答科目を採用します。

2. 「外国語」において「英語」を選択する受験者は、リーディングとリスニングの双方を解答しなければなりません（リスニングの免除を許可された者を除く。）。
3. 「地歴」と「公民」について、第 1 解答科目が保健学科の指定した利用教科・科目でなく、第 2 解答科目が保健学科の指定した利用教科・科目である場合は、当該利用教科・科目を「0 点」として取り扱います。

(4) 評価基準・配点

1) 評価基準

【調査書等】

就学状況、学業成績、資格取得状況、クラブ活動や社会的活動等を評価します。

【面接】

出願書類（推薦書、調査書、志望理由書等）を参考にして、複数の面接官による集団面接を実施します。各専攻を志望した動機、科学的・知的探究心、柔軟な思考力、各専攻に対する熱意と適性、将来性、高等学校における活動状況等を評価します。

2) 配点

区分 学科・専攻		大学入学共通テスト						個別学力検査等		合計	
		教科・科目等						計	面接		計
		国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	情報				
保健 学科	看護学専攻	200	100	200	200	200	100	1000	100	100	1100
	放射線技術 科学専攻	200	100	200	200	200	50	950	100	100	1050
	検査技術 科学専攻	200	100	200	200	200	50	950	100	100	1050

※大学入学共通テストで課す「外国語『英語』」については、リーディング 100 点満点を 200 点満点に、リスニング 100 点満点を 50 点満点に換算し、その合計点を 200 点満点に圧縮したうえで、各専攻における配点のとおり換算します。

なお、リスニング免除者及び英語以外の「外国語」受験者については、リーディング 100 点満点を 200 点満点に換算し、各専攻における配点のとおり換算します。

(5) 合否判定基準

- 1) 令和 7 年度大学入学共通テストの 6 教科 8 科目以上を受験し、かつ、**8 科目合計点の 65%以上を得た者を対象に**、総得点の高い順に募集人員の範囲で合格者を決定します。
- 2) 面接の得点が 60%に満たない場合は不合格とします。
- 3) 合計点が同点の場合は、**面接の成績を優先**して順位を決定します。

(6) 試験日時等

- 1) 日 時 令和 7 年 2 月 8 日（土） 集合時間 12 時 30 分
- 2) 試験場 熊本大学医学部保健学科 熊本市中央区九品寺 4 丁目 24 番 1 号

※ インターネット出願システムから出力した本学の受験票（学校推薦型選抜Ⅱ用）及び「大学入学共通テスト受験票」を持参してください。

[本件に関する問合せ先]

熊本大学医薬保健学系事務課保健学事務チーム教務担当 電話：096-373-5571

6. 薬 学 部

(1) 募集人員

薬学科	15 人
創薬・生命薬科学科	10 人

(2) 推薦の要件

推薦人員は、両学科とも一つの学校から 3 人までとします。
志望学科への入学意志が強固な者で、次の 1)～4) の全ての要件を満たすもの

- 1) 次のいずれかに該当する者
 - ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和 6 年 3 月以降に卒業した者及び令和 7 年 3 月卒業見込みの者
 - ② 高等専門学校の第 3 学年を令和 7 年 3 月修了見込みの者
 - ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和 6 年 3 月以降に修了した者及び令和 6 年 3 月修了見込みの者
- 2) 上記 1) の教育施設における学習成績が優良な者のうち、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者
- 3) 令和 7 年度大学入学共通テストの 6 教科 8 科目以上（「(3) 選抜方法」参照）を受験した者
- 4) 合格した場合、入学することを確約できる者

(3) 選抜方法

大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書及び面接の成績により総合的に判定します。

大学入学共通テストで受験を要する教科・科目

学 科	新教育課程による出題科目	旧教育課程履修者等に対する経過措置
薬 学 科 創薬・生命 薬科学科	国 : 国語……1 地歴 : 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探 } から 1 公民 : 公・倫、公・政経	*旧教育課程履修者は、以下の経過措置科目を選択することができる。 地歴 : 旧世B、旧日B、旧地理B 公民 : 旧現社、旧倫、旧政経、旧倫・旧政経 } から 1
	数 : 数Ⅰ・数A……1 数Ⅱ・数B・数C……1 理 : 化学……1 物理、生物から 1 } 2 外 : 英、独、仏、中、韓から 1 情 : 情報Ⅰ……1 [6 教科 8 科目]	数 : 旧数Ⅰ・旧数A……1 旧数Ⅱ・旧数B、旧簿、旧情報基礎から 1 情 : 旧情報……1 * 「旧簿」及び「旧情報基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校（後期課程）等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の学科修了（見込み）者に限る。

(注) 1. 「地歴」と「公民」について、指定数以上の教科・科目を解答している者の成績は、第 1 解答科目を採用します。

2. 「外国語」において「英語」を選択する受験者は、リーディングとリスニングの双方を解答しなければなりません（リスニングの免除を許可された者を除く。）。
3. 「地歴」と「公民」について、第 1 解答科目が薬学部指定した利用教科・科目でなく、第 2 解答科目が薬学部指定した利用教科・科目である場合は、当該利用教科・科目を「0 点」として取り扱いします。

(4) 評価基準・配点

1) 評価基準

【面接】

薬学部の教育を受けるために必要な基礎学力、科学的・知的探求心、薬学に対する熱意と適性、柔軟な思考力、高校生時代の活動状況を評価します。

調査書、推薦書及び志望理由書を参考にしながら、複数の面接官による個人面接を実施します。

2) 配点

学科	区分	大学入学共通テスト						個別学力検査等		合計	
		教科・科目等						計	面接		計
		国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	情報				
薬学科		200	100	200	200	200	100	300	100	100	400
創薬・生命薬科学科	8 科目合計点 (1000 点) を 300 点に換算する										

※大学入学共通テストで課す「外国語『英語』」については、リーディング 100 点満点を 200 点満点に、リスニング 100 点満点を 50 点満点に換算し、その合計点を 200 点満点に圧縮したうえで、学科における配点のとおり換算します。

なお、リスニング免除者及び英語以外の「外国語」受験者については、リーディング 100 点満点を 200 点満点に換算し、学科における配点のとおり換算します。

(5) 合否判定基準

令和 7 年度大学入学共通テストの 6 教科 8 科目以上を受験し、かつ、原則として 8 科目合計点の 65% 以上を得た者を対象に、総得点の高い順に募集人員の範囲で合格者を決定します。

(6) 試験日時等

- 1) 日 時 令和 7 年 2 月 8 日 (土) 集合時間 9 時 30 分
- 2) 試験場 熊本大学薬学部 熊本市中央区大江本町 5 番 1 号

- (注) 1. 面接の順番により昼食が必要となる場合があります。
2. インターネット出願システムから出力した本学の受験票（学校推薦型選抜Ⅱ用）及び「大学入学共通テスト受験票」を持参してください。

[本件に関する問合せ先]

熊本大学医薬保健学系事務課薬学事務チーム教務担当 電話：096-371-4635

7. 工 学 部 (ア)

(1) 募集人員

土木建築学科	26人
機械数理工学科	16人
情報電気工学科	20人
材料・応用化学科	27人
半導体デバイス工学課程	5人

(2) 推薦の要件

志望学科・課程への入学の意志が強固な者で、次の1)～4)の全ての要件を満たすもの

1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和6年3月以降に卒業した者又は令和7年3月に卒業見込みの者
- ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和6年3月以降に修了した者又は令和7年3月修了見込みの者

2) 上記1)の教育施設における学習成績が優良な者のうち、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者

3) 令和7年度大学入学共通テストの6教科8科目以上（「(3) 選抜方法」参照）を受験した者

4) 合格した場合、入学することを確約できる者

(3) 選抜方法

大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書及び面接の成績により総合的に判定します。

大学入学共通テストで受験を要する教科・科目

学科・課程	新教育課程による出題科目	旧教育課程履修者等に対する経過措置
土木建築学科	国：国語……1	*旧教育課程履修者は、以下の経過措置科目を選択することができる。
機械数理工学科	地歴：地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探 公民：公・倫、公・政経	地歴：旧世B、旧日B、旧地理B 公民：旧現社、旧倫、旧政経、 旧倫・旧政経
情報電気工学科	数：数I・数A……1 数II・数B・数C……1	数：旧数I・旧数A……1 旧数II・旧数B、 旧簿、旧情報基礎から1
材料・応用化学科	理：物理、化学、生物、地学から2 外：英、独、仏、中、韓から1 情：情報I……1	情：旧情報……1
半導体デバイス工学課程	[6教科8科目]	*「旧簿」及び「旧情報基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校（後期課程）等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の学科修了（見込み）者に限る。

- (注) 1. 「地歴」と「公民」について、指定数以上の教科・科目を解答している者の成績は、第1解答科目を採用します。
2. 「外国語」において「英語」を選択する受験者は、リーディングとリスニングの双方を解答しなければなりません(リスニングの免除を許可された者を除く。)
3. 「地歴」と「公民」について、第1解答科目が工学部の指定した利用教科・科目でなく、第2解答科目が工学部の指定した利用教科・科目である場合は、当該利用教科・科目を「0点」として取り扱います。

(4) 評価基準・配点

1) 評価基準

【調査書等】

学業成績、就学状況、生活態度、取得資格、クラブ活動やボランティア活動など社会的活動等を評価します。

【面接】

出願書類(推薦書、調査書、志望理由書等)を参考にしながら、個人面接を実施します。志望の具体的な動機や目的、志望学科・課程に関わる専門分野への関心や知識、高等学校における活動状況などを尋ね、表現力、積極性、勉学意欲などの観点からアドミッション・ポリシーへの適合性について評価します。

また、以下の学科の面接では口頭試問を行います。

①機械数理工学科

基礎学力(数学分野及び物理分野)に関する口頭試問を行います。

②材料・応用化学科

化学分野と物理分野あるいは化学分野と生物分野の知識に関する口頭試問を行います。

(注) 出題範囲は次のとおりとします。数学分野(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C)、物理分野(物理基礎・物理)、化学分野(化学基礎・化学)、生物分野(生物基礎・生物)

2) 配点

区分 学科・課程	大学入学共通テスト							個別学力検査等		合計
	教科・科目等						計	面接	計	
	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	情報				
土木建築学科	200	100	200	200	200	100	1000	200	200	1200
機械数理工学科										
情報電気工学科										
材料・応用化学科										
半導体デバイス工学課程										

※大学入学共通テストで課す「外国語『英語』」については、リーディング(100点満点)及びリスニング(100点満点)の成績をそのまま200点満点としたうえで、各学科・課程における配点のとおりに換算します。

なお、リスニング免除者及び英語以外の「外国語」受験者については、リーディング100点満点を200点満点に換算し、各学科・課程における配点のとおりに換算します。

(5) 合否判定基準

- 1) 総得点の高い順に合格者を決定します。
- 2) 情報電気工学科及び半導体デバイス工学課程については、面接の得点が著しく低い場合は不合格となります。

(6) 試験日時等

- 1) 日 時 令和7年2月8日(土) 集合時間 13時00分
- 2) 試験場 熊本大学工学部2号館 熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

※ インターネット出願システムから出力した本学の受験票(学校推薦型選抜Ⅱ用)及び「大学入学共通テスト受験票」を持参してください。

[本件に関する問合せ先]

熊本大学自然科学系事務課工学部教務担当 電話：096-342-3522

8. 工 学 部 (イ)

(1) 募集人員

土木建築学科
 機械数理工学科
 情報電気工学科
 材料・応用化学科
 半導体デバイス工学課程

各学科・課程とも若干名
 (募集人員の若干名は工学部(ア)の募集人員の枠内とします)

(2) 推薦の要件

職業教育を主とする専門高校(学科)及び総合学科を令和7年3月卒業見込みの者(令和6年度中に卒業を認められる者を含む。)で、次の1)～4)の全ての要件を満たすもの

1) 職業教育を主とする専門高校(学科)においては、高等学校の学習成績概評がAで、最上位又はそれに準ずる者

総合学科においては、高等学校の学習成績概評がAの者に限る

2) 人物・能力及び適性等について当該高等学校長が責任をもって推薦できる者

3) 令和7年度大学入学共通テストの3教科4科目以上(「(3)選抜方法」参照)を受験した者

4) 合格した場合、入学することを確約できる者

(注) 総合学科については、次表で示す工学部各学科・課程の対象となる系列に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む)した者

工学部各学科・課程において対象となる、職業教育を主とする専門高校(学科)及び総合学科の系列は、次のとおりです。

学科・課程	対 象 等	
	専門高校(学科)	総合学科の系列
土木建築学科	土木・建築・都市・環境関連の学科	土木・建築・都市・環境関連の系列
機械数理工学科	機械・工学関連の学科	機械・工学関連の系列
情報電気工学科	情報・電気・電子・通信関連の学科	情報・電気・電子・通信関連の系列
材料・応用化学科	化学・工学関連の学科	化学・工学関連の系列
半導体デバイス工学課程	電気・電子・情報・通信・機械・材料・化学関連の学科	電気・電子・情報・通信・機械・材料・化学関連の系列

(3) 選抜方法

大学入学共通テスト、推薦書、調査書及び面接の成績により総合的に判定します。

大学入学共通テストで受験を要する教科・科目

学 科 ・ 課 程	新教育課程による出題科目	旧教育課程履修者等に対する経過措置
土 木 建 築 学 科	[3教科4科目]	*旧教育課程履修者は、以下の経過措置科目を選択することができる。
機 械 数 理 工 学 科		数 : 旧数Ⅰ・旧数A・……1 旧数Ⅱ・旧数B、旧簿、 旧情報基礎から1
情 報 電 気 工 学 科		情 : 旧情報・……1
材 料 ・ 応 用 化 学 科		
半 導 体 デ バ イ ス 工 学 課 程		

(注) 1. 「外国語」において「英語」を選択する受験者は、リーディングとリスニングの双方を解答しなければなりません（リスニングの免除を許可された者を除く。）。

(4) 評価基準・配点

1) 評価基準

【調査書等】

学業成績、就学状況、生活態度、取得資格、クラブ活動やボランティア活動など社会的活動等を評価します。

【面接】

出願書類（推薦書、調査書等）を参考にしながら、個人面接を実施します。志望の具体的な動機や目的、志望学科・課程に関わる専門分野への関心や知識、高等学校における活動状況などを尋ね、表現力、積極性、勉学意欲などの観点からアドミッション・ポリシーへの適合性について評価します。

また、以下の学科・課程の面接では口頭試問を行います。

①機械数理工学科

基礎学力（数学分野及び物理分野）に関する口頭試問を行います。

②情報電気工学科

基礎学力（数学分野と〔電気電子、情報から1科目選択〕）に関する口頭試問を行います。

③材料・応用化学科

数学分野と物理分野あるいは数学分野と生物分野の知識に関する口頭試問を行います。

④半導体デバイス工学課程

基礎学力（数学分野、物理分野、数学分野から1科目選択）に関する口頭試問を行います。

(注) 出題範囲は次のとおりとします。数学分野（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C）、物理分野（物理基礎・物理）、数学分野（化学基礎・化学）、生物分野（生物基礎・生物）

2) 配点

区分 学科・課程	大学入学共通テスト						個別学力検査等		合計	
	教科・科目等						計	面接		計
	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	情報				
土木建築学科 機械数理工学科 情報電気工学科 材料・応用化学科 半導体デバイス工学課程			300 (1科目 150点)		200	100	600	200	200	800

※大学入学共通テストで課す「外国語『英語』」については、リーディング（100点満点）及びリスニング（100点満点）の成績をそのまま200点満点としたうえで、各学科・課程における配点のとおり換算します。

なお、リスニング免除者及び英語以外の「外国語」受験者については、リーディング100点満点を200点満点に換算し、各学科・課程における配点のとおり換算します。

(5) 合否判定基準

総得点の高い順に合格者を決定します。

(6) 試験日時等

- 1) 日 時 令和7年2月8日（土） 集合時間 13時00分
- 2) 試験場 熊本大学工学部2号館 熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

※ インターネット出願システムから出力した本学の受験票（学校推薦型選抜Ⅱ用）及び「大学入学共通テスト受験票」を持参してください。

[本件に関する問合せ先]

熊本大学自然科学系事務課工学部教務担当 電話：096-342-3522

9. 情報融合学環（一般枠）

(1) 募集人員

情報融合学環 7人

(2) 推薦の要件

入学の意志が強固な者で、次の1)～4)の全ての要件を満たすもの
 なお、学校推薦型選抜Ⅱ（一般枠）を第1志望とし、学校推薦型選抜Ⅱ（女子枠）を第2志望とすることはできません。

1) 次のいずれかに該当する者

① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和6年3月以降に卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者

② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和6年3月以降に修了した者又は令和7年3月修了見込みの者

2) 上記1)の教育施設における学習成績が優良な者のうち、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者

3) 令和7年度大学入学共通テストの6教科又は7教科8科目以上（「(3) 選抜方法」参照）を受験した者

4) 合格した場合、入学することを確約できる者

(3) 選抜方法

大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書及び面接の成績により総合的に判定します。
 なお、面接には口頭試問が含まれます。

大学入学共通テストで受験を要する教科・科目

	新教育課程による出題科目	旧教育課程履修者等に対する経過措置
文系型	国 : 国語……1	*旧教育課程履修者は、以下の経過措置科目を選択することができる。
	地歴 : 地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探から1又は2	地歴 : 旧世B、旧日B、旧地理B から1又は2 } から 1又は2
	公民 : 公・倫、公・政経から1	
	数 : 数Ⅰ・数A……1 数Ⅱ・数B・数C……1	数 : 旧数Ⅰ・旧数A……1 旧数Ⅱ・旧数B、 旧簿、旧情報基礎から1
	理 : 物理基礎/化学基礎/ 生物基礎/地学基礎、 物理、化学、生物、地学	} から 1又は2
	外 : 英、独、仏、中、韓から1	
情 : 情報Ⅰ……1	情 : 旧情報……1	
	[6教科又は7教科8科目]	

文 系 型	<p>*地歴と公民から1科目以上、理科から1科目以上とし、これらの教科の中から3科目受験すること。 なお、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」については、2つを選択解答することで「理科1科目」受験とする。また、「理科」においては、同一名称のつく科目（例：物理基礎と物理）を選択することはできない。</p>	<p>*「旧簿」及び「旧情報基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校（後期課程）等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の学科修了（見込み）者に限る。</p>
理 系 型	<p>国：国語……1</p> <p>地歴：地総・地探、歴総・日探、歴総・世探 } から1 公民：公・倫、公・政経</p> <p>数：数Ⅰ・数A……1 数Ⅱ・数B・数C……1</p> <p>理：物理、化学、生物、地学から2 外：英、独、仏、中、韓から1 情：情報Ⅰ……1</p> <p style="text-align: right;">[6教科8科目]</p>	<p>地歴：旧世B、旧日B、旧地理B } から1 公民：旧現社、旧倫、旧政経、 旧倫・旧政経</p> <p>数：旧数Ⅰ・旧数A……1 旧数Ⅱ・旧数B、旧簿、旧情報基礎から1</p> <p>情：旧情報……1</p> <p>*「旧簿」及び「旧情報基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校（後期課程）等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の学科修了（見込み）者に限る。</p>

- (注) 1. 「地歴」と「公民」及び「理科」について、指定数以上の教科・科目を解答している者の成績は、第1解答科目を採用します。
2. 「地歴」及び「公民」において、2科目選択する場合、「公・倫」と「公・政経」の組合せを選択することはできません。
3. 「外国語」において「英語」を選択する受験者は、リーディングとリスニングの双方を解答しなければなりません（リスニングの免除を許可された者を除く。）。
4. 文系型において、「地歴」と「公民」及び「理科」の教科について、4科目を受験している者は、各々の教科の第1解答科目を採用し、第2解答科目のうち高得点の科目を採用します。また、「理科」においては、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」において選択した2つと、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目から選択した1科目は、同一名称のつく科目（例：物理基礎と物理）にすることはできません。この組み合わせで受験した場合は、第2解答科目を「0点」として取り扱います。
5. 「地歴」と「公民」について、第1解答科目が情報融合学環の指定した利用教科・科目でなく、第2解答科目が情報融合学環の指定した利用教科・科目である場合は、当該利用教科・科目を「0点」として取り扱います。

(4) 評価基準・配点

1) 評価基準

【調査書等】

学業成績、就学状況、生活態度、取得資格、クラブ活動やボランティア活動など社会的活動等を評価します。

【面接】

出願書類（推薦書、調査書等）を参考にしながら、個人面接を実施します。志望の具体的な動機や目的、志望に関わる専門分野への関心や知識、高等学校における活動状況などを尋ね、表現力、積極性、勉学意欲などの観点からアドミッション・ポリシーへの適合性について評価します。

また、基礎学力（数学分野）に関する口頭試問又は英語による簡単な問答（いずれかを選択）を行い、探求力と洞察力、コミュニケーション能力などについて評価します。

（注）出題範囲は次のとおりとします。

数学分野（数Ⅰ・数Ⅱ・数A：全範囲、数B：数列、数C：ベクトル）

2) 配点

区分	大学入学共通テスト						個別学力検査等		合計	
	教科・科目等						計	面接		計
	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	情報				
文系型	200	*100 /200	200	*100 /200	200	100	1000	200	200	1200
理系型	200	100	200	200	200	100	1000	200	200	1200

- (注) 1. * が付してある教科・科目は、選択教科・科目を示します。
 2. 大学入学共通テストで課す「外国語『英語』」については、リーディング 100 点満点を 200 点満点に、リスニング 100 点満点を 50 点満点に換算し、その合計点を 200 点満点に圧縮したうえで、情報融合学環における配点のとおり換算します。
 なお、リスニング免除者及び英語以外の「外国語」受験者については、リーディング 100 点満点を 200 点満点に換算し、情報融合学環における配点のとおり換算します。

(5) 合否判定基準

文系型、理系型の全受験者（女子枠で合格した者を除く）を総合得点順に並べ、得点上位者から順次、合格者を決定します。

(6) 試験日時等

- 1) 日 時 令和7年2月8日(土) 集合時間 9時00分
- 2) 試験場 熊本大学全学教育棟 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号

※ インターネット出願システムから出力した本学の受験票（学校推薦型選抜Ⅱ用）及び「大学入学共通テスト受験票」を持参してください。

[本件に関する問合せ先]

熊本大学自然科学系事務課情報融合学環教務担当 電話：096-342-2257

10. 情報融合学環（女子枠）

※データサイエンス、情報学に対する強い勉学意欲と将来を見据えた明確な勉学目的を持つことはもとより、従来の常識にとらわれずに新たなことに積極的にチャレンジし、多様な視点や優れた発想から、新たなイノベーション創出や社会の発展に貢献したいという意欲を持つ優秀な女子学生の積極的な出願を期待します。

(1) 募集人員

情報融合学環

8人

(2) 推薦の要件

入学の意志が強固な者で、次の1)～4)の全ての要件を満たす女子

なお、学校推薦型選抜Ⅱ（女子枠）を第1志望とし、学校推薦型選抜Ⅱ（一般枠）を第2志望とすることを認めます。

1) 次のいずれかに該当する者

① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和6年3月以降に卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者

② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和6年3月以降に修了した者又は令和7年3月修了見込みの者

2) 上記1)の教育施設における学習成績が優良な者のうち、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者

3) 令和7年度大学入学共通テストの6教科又は7教科8科目以上（「(3) 選抜方法」参照）を受験した者

4) 合格した場合、入学することを確約できる者

(3) 選抜方法

大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書及び面接の成績により総合的に判定します。

なお、面接には口頭試問が含まれます。

大学入学共通テストで受験を要する教科・科目

	新教育課程による出題科目	旧教育課程履修者等に対する経過措置
文 系 型	国 : 国語……1	*旧教育課程履修者は、以下の経過措置科目を選択することができる。
	地歴 : 地総・地探、歴総・日探、 歴総・世探から1又は2 公民 : 公・倫、公・政経から1 } から 1又は2	
	数 : 数Ⅰ・数A……1 数Ⅱ・数B・数C……1	数 : 旧数Ⅰ・旧数A……1 旧数Ⅱ・旧数B、 旧簿、旧情報基礎から1

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">文 系 型</p>	<p>理 : 物理基礎/化学基礎/ 生物基礎/地学基礎、 物理、化学、生物、地学 } から 1 又は 2</p> <p>外 : 英、独、仏、中、韓から 1</p> <p>情 : 情報 I ……1</p> <p style="text-align: center;">[6 教科又は 7 教科 8 科目]</p> <p>* 地歴と公民から 1 科目以上、理科から 1 科目以上とし、これらの教科の中から 3 科目受験すること。 なお、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」については、2 つを選択解答することで「理科 1 科目」受験とする。また、「理科」においては、同一名称のつく科目（例：物理基礎と物理）を選択することはできない。</p>	<p>情 : 旧情報 ……1</p> <p>* 「旧簿」及び「旧情報基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校（後期課程）等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の学科修了（見込み）者に限る。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">理 系 型</p>	<p>国 : 国語 ……1</p> <p>地歴 : 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探 } から 1 公民 : 公・倫、公・政経</p> <p>数 : 数 I ・数 A ……1 数 II ・数 B ・数 C ……1</p> <p>理 : 物理、化学、生物、地学から 2</p> <p>外 : 英、独、仏、中、韓から 1</p> <p>情 : 情報 I ……1</p> <p style="text-align: center;">[6 教科 8 科目]</p>	<p>地歴 : 旧世 B、旧日 B、旧地理 B } から 1 公民 : 旧現社、旧倫、旧政経、 旧倫・旧政経</p> <p>数 : 旧数 I ・旧数 A ……1 旧数 II ・旧数 B、旧簿、旧情報基礎から 1</p> <p>情 : 旧情報 ……1</p> <p>* 「旧簿」及び「旧情報基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校（後期課程）等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の学科修了（見込み）者に限る。</p>

- (注) 1. 「地歴」と「公民」及び「理科」について、指定数以上の教科・科目を解答している者の成績は、第 1 解答科目を採用します。
2. 「地歴」及び「公民」において、2 科目選択する場合、「公・倫」と「公・政経」の組合せを選択することはできません。
3. 「外国語」において「英語」を選択する受験者は、リーディングとリスニングの双方を解答しなければなりません（リスニングの免除を許可された者を除く。）。
4. 文系型において、「地歴」と「公民」及び「理科」の教科について、4 科目を受験している者は、各々の教科の第 1 解答科目を採用し、第 2 解答科目のうち高得点の科目を採用します。また、「理科」においては、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」において選択した 2 つと、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の 4 科目から選択した 1 科目は、同一名称のつく科目（例：物理基礎と物理）にすることはできません。この組み合わせで受験した場合は、第 2 解答科目を「0 点」として取り扱います。
5. 「地歴」と「公民」について、第 1 解答科目が情報融合学環の指定した利用教科・科目でなく、第 2 解答科目が情報融合学環の指定した利用教科・科目である場合は、当該利用教科・科目を「0 点」として取り扱います。

(4) 評価基準・配点

1) 評価基準

【調査書等】

学業成績、就学状況、生活態度、取得資格、クラブ活動やボランティア活動など社会的活動等を評価します。

【面接】

出願書類（推薦書、調査書等）を参考にしながら、個人面接を実施します。志望の具体的な動機や目的、志望に関わる専門分野への関心や知識、高等学校における活動状況などを尋ね、表現力、積極性、勉学意欲などの観点からアドミッション・ポリシーへの適合性について評価します。

また、基礎学力（数学分野）に関する口頭試問又は英語による簡単な問答（いずれかを選択）を行い、探求力と洞察力、コミュニケーション能力などについて評価します。

（注）出題範囲は次のとおりとします。

数学分野（数Ⅰ・数Ⅱ・数A：全範囲、数B：数列、数C：ベクトル）

2) 配点

区分	大学入学共通テスト						個別学力検査等		合計	
	教科・科目等						計	面接		計
	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	情報				
文系型	200	*100 /200	200	*100 /200	200	100	1000	200	200	1200
理系型	200	100	200	200	200	100	1000	200	200	1200

（注）1. * が付してある教科・科目は、選択教科・科目を示します。

2. 大学入学共通テストで課す「外国語『英語』」については、リーディング 100 点満点を 200 点満点に、リスニング 100 点満点を 50 点満点に換算し、その合計点を 200 点満点に圧縮したうえで、情報融合学環における配点のとおり換算します。

なお、リスニング免除者及び英語以外の「外国語」受験者については、リーディング 100 点満点を 200 点満点に換算し、情報融合学環における配点のとおり換算します。

(5) 合否判定基準

文系型、理系型の全受験者を総合得点順に並べ、得点上位者から順次、合格者を決定します。

(6) 試験日時等

1) 日 時 令和7年2月8日（土） 集合時間 9時00分

2) 試験場 熊本大学全学教育棟 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号

※ インターネット出願システムから出力した本学の受験票（学校推薦型選抜Ⅱ用）及び「大学入学共通テスト受験票」を持参してください。

〔本件に関する問合せ先〕

熊本大学自然科学系事務課情報融合学環教務担当 電話：096-342-2257

出願・受験案内等

1. 出願手続

本学に入学を志願する者は、次の（１）から（６）により、出願手続を行ってください。

（１）出願方法

インターネットを利用した出願の流れ図



インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料の支払い

① インターネットによる出願情報の登録（写真のアップロードを含む。）

② 入学検定料の支払い

入学検定料 17,000 円

（別途、サービス利用料が必要です。また、入試成績開示を希望する場合は別途手数料 300 円が必要です。）

支払方法は事前に確認しておいてください。（53 ページを参照。）

③ インターネット環境以外で事前準備が必要となる主な事項は、次のとおりです。

・電子メールアドレス

スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。この電子メールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを配信しますので、本学からのメールを確実に受信できるよう設定を確認しておいてください。

・顔写真データ

直近 3 か月以内に撮影したもので、写真サイズは 100KB 以上 5MB 以下、写真データ形式は「JPEG 又は PNG」のいずれかであること。写真の比率は縦 4×横 3 とします。

・プリンタ（モノクロ、カラーどちらでも可。）

出願情報の登録内容や受験票を印刷することになります。印刷用紙は普通紙でかまいません。

・提出書類のうち、「その他必要な提出書類」（51～52 ページを参照。）

書類の内容によっては、準備に時間を要する場合がありますので、事前に確認が必要です。

④ パソコン・インターネット環境がない場合は、自宅以外（学校等）のパソコン（インターネット環境）を利用していただいてもかまいません。

インターネット出願は、インターネットでの登録（写真のアップロードを含む。）及び入学検定料の支払を行っただけでは出願手続完了とはなりません。

出願期間内に、51～52 ページの提出書類を郵送する必要があります。

※ 出願期間（53 ページ参照。）内に提出書類が届かない場合、出願未完了（登録データは無効）となりますので、注意してください。

(2) 出願書類等

次の①～③の書類等を提出してください。

注1) 改姓名等により現在の氏名と提出書類の氏名が異なる場合は、改姓の事実が確認できる戸籍抄本等の証明書類等を提出してください。

注2) 外国語で記載された証明書類等は、必ず日本語訳を添付してください。

①インターネット出願システムからの印刷物

提出書類等	摘 要
出願確認票 [印刷サイズ：A4]	インターネット出願登録後、「申し込み一覧」から印刷したもの。 ※印字されている内容に誤りがないか、確認してください。
宛名ラベル [印刷サイズ：A4]	インターネット出願登録後、「申し込み一覧」から印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください。 ※印字されている内容に誤りがないか、確認してください。 また、提出書類チェック欄に、チェックしてください。 ※封筒は、市販の 角形2号封筒 （240mm×332mmでA4サイズの書類を折らずに入れることができる封筒）を準備してください。

②その他必要な提出書類

提出書類等	摘 要
令和7共通テスト 成績請求票	大学入試センターから交付を受けた有効な「 推薦 令和7共通テスト成績請求票 国公立推薦型選抜用」を出願確認票の所定の欄に貼り付けてください。
推 薦 書 [印刷サイズ：A4]	所定の様式を、本学ウェブサイトよりダウンロードしA4サイズ（片面）で印刷の上、出身学校長が作成し、 厳封 したもの。 ※「推薦書記入要領」を参考に作成してください。
調 査 書	出身学校長が文部科学省で定めた様式により作成し、 厳封 したもの。 ※新型コロナウイルス感染症の影響に伴う大会や資格・検定試験の中止等による特別活動の記録や指導上参考となる諸事項の記載の取扱いについては、「令和7年度大学入学者選抜実施要項について」の調査書記入上の注意事項等を参考に記載してください。
志 望 理 由 書 [印刷サイズ：A4]	・教育学部（学校教育教員養成課程初等・中等教育コース『小学校専攻（一般枠、地域枠、理数枠）』、『実技系専攻（音楽、美術、保健体育、技術、家庭）』、特別支援教育コース） ・医学部医学科 ・医学部保健学科 ・薬学部 ・工学部（ア） ・情報融合学環 上記学部（学科等）・学環の志願者は、所定の様式を、本学ウェブサイトよりダウンロードしA4サイズで両面印刷の上、志願者本人の直筆により作成してください。

<p>演奏曲目調書 〔印刷サイズ：A4〕</p>	<p>・教育学部 学校教育教員養成課程初等・中等教育コース 『実技系専攻（音楽）』のみ 所定の様式を本学ウェブサイトよりダウンロードし、A4サイズで印刷の上、志願者本人の直筆により作成してください。</p>
<p>楽譜</p>	<p>・教育学部 学校教育教員養成課程初等・中等教育コース 『実技系専攻（音楽）』のみ 全課題曲の楽譜をそれぞれ2部ずつ提出すること。提出する楽譜の大きさは1ページにつきA4版縦とし、各ページを全開できるように蛇腹折りにして製本すること。なお、楽譜には氏名を記入すること。</p>
<p>スポーツ歴調査書 〔印刷サイズ：A4〕</p>	<p>・教育学部 学校教育教員養成課程初等・中等教育コース 『実技系専攻（保健体育）』のみ 所定の様式を本学ウェブサイトよりダウンロードし、A4サイズで印刷の上、出身学校長が作成したもの。</p>
<p>住民票の写し等</p>	<p>・医学部医学科（地域枠、みらい医療枠）のみ 熊本県外の高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者は、保護者の現住所の居住期間及び本人との続柄がわかる住民票の写し等の提出が必要です。 保護者の現住所地在3年前（令和4年1月1日以前）から引き続き、熊本県内にあることを証明する書類として住民票の写し（続柄が記載されているもの）を提出してください。（出願日前3か月以内に発行されたもので個人番号（マイナンバー、本籍の記載がないもの） ※3年以内（令和4年1月2日以降）に同一都道府県内で転居している場合は、住民票の除票が必要になる場合があるので注意してください。 なお、住民票に続柄の記載がない場合は、入学志願者と保護者との関係が分かるものとして、以下のいずれか一つを提出してください。 <input type="checkbox"/>入学志願者の出身高等学校等が発行する証明書（任意様式・学校長の証明印があること） <input type="checkbox"/>健康保険証のコピー（続柄が記載されているもの） ※保険者番号及び被保険者等記号・番号にはマスクングを施すこと <input type="checkbox"/>市（区）役所、町村役場が発行するもので関係がわかるもの</p>
<p>同意書 〔印刷サイズ：A4〕</p>	<p>・医学部医学科（地域枠）のみ 所定の様式を、本学ウェブサイトよりダウンロードしA4サイズで印刷の上、志願者本人等の直筆により作成してください。 ※志願時に、熊本県と本人と保護者もしくは法定代理人が従事要件・離脱要件に書面同意をしていることが必要です。</p>

③インターネット出願システムでアップロード作業が必要なもの（郵送による提出不要）

提出書類等	摘 要
写 真	<p>インターネット出願完了後、志願者本人の写真のアップロードを行ってください。 ※上半身、脱帽、正面向き、無背景、願書受付日前3か月以内に撮影したもの。 ※アップロードする際、64ページの条件を満たしているか確認してください。</p>

(3) 出願期間

令和7年1月20日(月)から1月24日(金)17時(必着)

※ただし、インターネット出願登録期間は、「令和7年1月14日(火)から1月24日(金)17時まで」としており、事前に登録可能です。

※1月24日(金)17時以降に到着したものは、1月22日(水)までの消印(日本国内)のあるものに限り受け付けます。

インターネット出願登録だけでは、出願手続は完了しません。
出願期間内に提出書類を郵送(必着)することで完了します。

(4) 提出方法

市販の角形2号封筒(240mm×332mmでA4サイズの書類を折らずに入れることができる封筒)に、インターネット出願登録完了後に印刷した宛名ラベルを封筒の表(宛名面)に貼付け、提出書類を同封し、個別(1志願者1通)に「簡易書留速達」郵便で郵送してください。持参は受け付けません。

(5) 注意事項

- ① 出願書類等に不備があるものは受け付けません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる事情があっても書類の返却及び変更並びに住所・連絡先以外の入力事項の変更は認めません。
- ③ 提出書類等に虚偽の記載及び不正な申告があった場合は、受験資格を失い、また入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- ④ 書類不備等で連絡する場合があります。熊本大学学生支援部入試課「096-342-2148」からの電話には必ず対応してください。
- ⑤ 出願書類到着確認の電話連絡には対応できません。到着確認を行いたい場合は、郵便追跡サービスをご利用ください。

(6) 提出先

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号 熊本大学学生支援部入試課

2. 検定料の支払方法

(1) 検定料 17,000円

※入学検定料の他に、別途必要なサービス利用料は志願者負担となります。

また、入試成績開示を希望する場合、さらに開示請求手数料(300円)が必要となります。

※令和6年度に災害救助法適用地域で被災された方については、入学検定料免除の特別措置を行っております。条件や手続等の詳細については、本学ウェブサイトをご覧ください。

(<https://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/whatnew/oshirase/280427> 参照)

(2) 支払期間 令和7年1月14日(火)から1月24日(金)まで

(3) 支払方法

クレジットカード決済、ペーパーレス決済(PAYSLE、コンビニ、ペイジー等)のいずれかで入学検定料の支払が可能です。

(4) 検定料の返還について

- ①支払済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
(ア) 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
(イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
②ただし、上記の（ア）又は（イ）に該当する返還に係る振込手数料は志願者の負担になります。
③どちらの場合でも、払込時のサービス利用料は返還しません。

【返還請求の方法】

①～⑨までの事項を明記した「検定料返還請求書」（様式自由）を作成し、速やかに下記の送付先に郵送してください。

- ①返還請求の理由
②志願者氏名 （氏名の右側に押印）
③入試区分
④志望学部
⑤インターネット出願システムの整理番号
⑥金額
⑦支払日
⑧連絡先〔郵便番号、現住所、電話番号〕
⑨振込口座
〔銀行名、支店名、普通預金の口座番号、口座名義（ふりがなも記入）、口座名義人と志願者との続柄〕

- ・返還請求の受付は令和7年3月31日（月）まで（必着）とし、受付日の翌月以降に返還する予定です。
・返還請求書の到着確認をしたい場合は、書留や特定記録郵便等で発送の上、郵便追跡サービスをご利用ください。

送付先 〒860-8555
熊本市中央区黒髪2丁目39番1号
熊本大学財務部財務課 収入担当
問合せ先 （電話）096-342-3176

※外国送金に関する注意点

日本国外の金融機関口座への検定料の返還を希望する場合は、熊本大学学生支援部入試課（nyushi@jimu.kumamoto-u.ac.jp）へ連絡してください。
なお、返還に伴い発生する手数料は全て志願者の負担となります。

3. インターネット出願登録方法

インターネット出願システムへは、熊本大学入試案内のウェブサイトからアクセスできます。

熊本大学インターネット出願システム

<https://admission.kumamoto-u.ac.jp/shutsugan/>
※出願期間の1週間前から登録可能になります。



こちらでは大まかな流れを説明しています。出願にあたっては、注意事項等をよく読み、入力等を行ってください。なお、以下のイメージは学生募集要項作成時点のものであり、画面のレイアウト等は変更する場合があります。

Step 1 入力時の注意事項

内容を確認の上、【「※入力時の注意事項」を確認しました。】にチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。チェックができない場合は、ブラウザを替えて試してください。

入力時の注意事項

以下の注意事項をよくお読みになり、内容をご同意いただき、「学生募集要項」を熟読の上、下の「※入力時の注意事項を確認しました。」にチェックし、「次へ」ボタンを押してください。

1. 出願手続は、本システムでのインターネット出願登録後、入学検定料の支払及び郵送による出願書類の提出が必要です。
提出書類は、「速達簡易書留」にて出願手続期間内に郵送（持参不可）してください。（出願手続最終日17時必着）
2. なお、提出書類に不備があった場合は受け付けられません。
所定の出願手続期間後の出願手続は、いかなる事情があっても一切認めません。
3. 出願手続期間内（最終日17時必着）に提出書類が届かない場合、出願手続未完了（登録データは無効）となりますので注意してください。
4. 登録完了後の入力事項変更及び手続完了後の書類の返却はできません。
5. 提出書類に虚偽の記載及び不正な申告があった場合は、出願手続を取り消すことがあります。

※入力時の注意事項※

入力の際は、「学生募集要項」を熟読し、事前の準備をしたうえで入力してください。

学生募集要項は、以下の本学ウェブサイトを確認してください。

○ 一般選抜（前期日程・後期日程）・総合型選抜（グローバルリーダーコース入試、帰国生徒対象）・学校推薦型選抜・私費外国人留学生選抜

<https://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/gakubunyushi/gakuseibosuyuyoukoutou>

○ 編入学

<https://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/sonota/hennyu>

○ 社会人選抜

<https://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/sonota/shakaijin/seikikatei>

「※入力時の注意事項」を確認しました。

◀ 戻る

次へ ▶

確認の上、チェックを入れてください。
チェックができない場合は、ブラウザを替えて試してください。

Step 2 新規登録

※すでに本学の他の選抜に志願したことがあり、新規登録が済んでいる場合は、Step2 を省略し、登録済のメールアドレスとパスワードでログインしてください。パスワードを忘れた場合や、登録済のメールアドレスを変更したい場合は、「新規登録」ボタンの下の各ボタンから変更ができます。

「新規登録」をクリックしてください。

ログイン

メールアドレス

パスワード

戻る ログイン

新規登録

? パスワードを忘れた場合はこちら

メールアドレス変更

50 ページを参照し、事前に用意したメールアドレスを入力し、「送信」をクリックしてください。すぐに入力したメールアドレス宛に、アカウント登録の案内メールが届きますので、メールに記載の URL をクリックしてください。メールが届かない場合は、入力したメールアドレスが間違っていないか、また、迷惑メール設定（「@jimu.kumamoto-u.ac.jp」からの受信を許可）を確認した上で、もう一度操作をやり直してください。

アカウント新規登録用アドレス送信

出願登録用アドレスをメールアドレス宛に送信します。

メールアドレス 必須

※普段使用している連絡のつきやすいメールアドレスを記入してください。
※「@jimu.kumamoto-u.ac.jp」からのメール受信を許可してください。

戻る 送信

インターネット出願システム用に、自分で任意のパスワードを設定し、入力してください。パスワードは英大文字、英小文字、数字、記号のうち3種類以上を含め8文字以上で設定してください。設定したパスワードは、忘れないように必ずメモをとっておいてください。

入力したら「設定」をクリックしてください。

パスワード設定(アカウント新規登録)

新パスワード 必須

新パスワードの確認 必須

パスワードを設定してください。
パスワードは英大文字、英小文字、数字、記号のうち3種類以上を含め8文字以上で設定してください。

設定

設定したパスワードは、入学手続等にも使用しますので、必ずメモをとっておいてください。

Step 3 入試区分等の選択

出願する「入試区分」を選んで、「次へ」をクリックしてください。

※すでに本学の他の選抜に志願したことがある場合は、ログイン後、「申し込み一覧」下部の「追高出願」ボタンからこの画面に移動してください。

入学検定料免除の特別措置を希望する場合、必ず事前に免除の申請を行ってください。
申請が認められましたら、パスワードが通知されますので、「はい」を選択して、パスワードを入力してください。
参考 URL <https://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/whatnew/oshirase/280427>

Step 4 志望学部等の選択

Step3 で選択した「入試区分」に該当する学科名等が表示されますので、必要事項を選択し、大学入学共通テスト成績請求票の番号を入力して「次へ」をクリックしてください。

志望する学部（学科・課程・専攻等）及び学環を1つ選択してください。
※教育学部 学校教員養成課程 初等・中等教育コース 小学校専攻において、「地域枠」「理数枠」を第1志望とし、「一般枠」を第2志望とする場合は、必ず「一般枠」も選択してください。
※情報融合学環において、「女子枠」を第1志望とし、「一般枠」を第2志望とする場合は、必ず「一般枠」も選択してください。その際、「一般枠」と「女子枠」で受験する型(文系型、理系型)を変えることはできません。

② 初等・中等教育コース 小学校専攻 (一般枠) 削除	① 初等・中等教育コース 小学校専攻 (地域枠) 削除
初等・中等教育コース 小学校専攻 (理数枠) 選択	初等・中等教育コース (理科専攻) 選択
初等・中等教育コース (実技系専攻 音楽) 選択	初等・中等教育コース (実技系専攻 美術) 選択
初等・中等教育コース (実技系専攻 保健体育) 選択	初等・中等教育コース (実技系専攻 技術) 選択
初等・中等教育コース (実技系専攻 家庭) 選択	特別支援教育コース 選択
養護教育コース 選択	第2志望なし 選択

受験科目(必須)

✓ 面接

> 医学部 2月8日(土)

> 薬学部 2月8日(土)

> 工学部 2月8日(土)

> 情報融合学環 2月8日(土)

大学入学共通テスト成績請求票の番号を入力してください。

大学入学共通テスト

成績請求票番号(試験場コード・受験番号・発行回数)を入力してください。

戻る 次へ

Step 5 個人情報の入力

各項目を入力し、その後「次へ」をクリックしてください。必須項目に入力漏れがあった場合はエラーメッセージが表示されます。

入試区分等の選択 志望学部 学科等選択 個人情報の入力

必須項目は入試区分によって異なります。項目ごとの以下の注意事項をよく参照しながら、画面に従って入力してください。

個人情報の入力

基本情報

氏名(フリガナ) 必須	セイ	クマダイ	メイ	ジロウ		
氏名(漢字) 必須	姓	熊大	名	次郎		
氏名や住所などの個人情報を入力する際に、漢字が登録エラーになる場合は代替の文字を入力してください。 例) 高木→高木 山崎→山崎						
生年月日 必須	2006	年	09	月	01	日
(平成18年9月1日生まれ) 満 18 歳						
性別 必須	<input checked="" type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性					

<外国人志願者の場合>
漢字入力ができない場合、アルファベットで入力してください。

本人連絡先

住所種別 必須	<input checked="" type="radio"/> 日本国内 <input type="radio"/> 日本国外
郵便番号 必須	860 - 0000
都道府県 必須	熊本県
市区町村 必須	熊本市AA区
番地等 必須	BB 1丁目1の1
マンション団地等	Cマンション301号室
電話番号 必須	携帯 090-0000-0000
	自宅 096-0000-0000
※自宅電話番号、携帯電話番号どちらから必ず入力 ※確実に連絡のとれる番号を入力してください。	
メールアドレス	

<出願時に日本国外に住んでいる場合>
「日本国外」を選択し、日本国外の住所を正しく入力してください。1つの枠に文字が入らない場合は、入力欄を分けてください。日本国内の住所が決まり次第、熊本大学入試課へご連絡願います。

ここでは登録されたメールアドレスの修正や変更はできません。登録済のメールアドレスを変更したい場合は、Step2の「新規登録」ボタンの下の「メールアドレス変更」ボタンから変更ができます。

緊急時の連絡先 (本人以外の連絡先)

電話番号 (携帯) 必須 090-1111-1111

入試成績の開示請求の希望 (手数料が別途必要となります)

入試成績の開示請求 必須 希望する 希望しない

出願資格 (出身学校等)

出身高校 必須 [検索] 高校コード:

「高校を検索する」ボタンから出身高校を検索して入力してください。

※高等学校卒業程度認定試験、高等学校卒業程度認定審査、外国の学校等、文部科学大臣の指定した者、認定および在外教育施設に該当する者は「高卒認定試験などの一覧」から選択してください。なお、高等学校卒業程度認定試験、高等学校卒業程度認定審査を選択した場合には、学生募集要項を確認の上、必要書類を提出してください。

高卒認定試験などの一覧

課程 必須 全日制

学科 必須 普通科

卒業年 必須 卒業見込み 年 月

※最終学年に在学中の場合は「卒業見込み」を選択してください。

大学入試共通テスト

受験教科・科目の確認 必須 確認していない 確認した

※志望する学部・学科・課程・専攻等の受験に必要な大学入試共通テストの教科・科目を受験したことを確認してください。

13～14ページの[大学入学共通テスト教科・科目の確認表]で、出願する学部・学科等に必要な大学入学共通テストの受験教科・科目を必ず事前に確認してください。

※入学後、登録内容に虚偽の事項が発見された場合には、入学許可を取り消すことがあります。

Step 6 お支払い方法の確認


お支払い方法について、以下の内容を確認し、「次へ」をクリックしてください。

入試区分等の選択 志望学部
学科等選択 個人情報の入力 **お支払い方法の確認** 入力内容の確認 登録完了

お支払い方法の確認


クレジットカード決済

以下のクレジットカードよりお支払いが可能です。




ペーパーレス決済（PAYSLE、コンビニ、ペイジー等）


※PAYSLEでお支払いの際は、スマートフォン（iPhoneまたはAndroid）をご利用ください。
※楽天銀行でお支払いの際は、パソコンをご利用ください。




スマートフォン上に表示されたバーコードを使い
セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリー
マート、セイコーマートでお支払いいただけます。




セブンイレブン全店で
お支払いいただけます




Loppiのある
ローソン、ミニストップ全店で
お支払いいただけます




マルチコピー機のある
ファミリーマート全店で
お支払いいただけます




ヤマザキデイリーストアー、
デイリーヤマザキ
全店で支払いいただけます




セイコーマート全店で
お支払いいただけます。



「Pay-easy」マークが貼付されている
ATM、インターネットバンキング、
モバイルバンキングで
お支払いいただけます



楽天銀行
楽天銀行の口座を
お持ちの場合、楽天銀行で
お支払いいただけます



PayPay銀行
PayPay銀行の口座をお持ちの場合、
PayPay銀行でお支払いいただけます

お支払い 「2025/01/24」までにお支払いください。

お支払い金額	合計金額 ¥17,300+サービス利用料
	入学検定料 ¥17,000
	成績開示手数料 ¥300
	サービス利用料 お支払い方法によって変わります。

戻る **次へ**

入試成績の開示請求を「希望する」を選択した場合、検定料と併せて成績開示手数料 300 円を支払う必要があります。

Step 7 入力内容の確認

誤りがなければ、「確定」をクリックしてください。

訂正をする場合は、「戻る」をクリックして前の画面に戻って訂正してください。

入試区分等の選択 志望学部
学科等選択 個人情報の入力 お支払い方法の確認 **入力内容の確認** 登録完了

入力内容の確認

確定すると申請情報が更新できなくなります。

入試区分	
入試区分	学校推薦型選抜Ⅱ

入試区分は正しく選択していますか？

志望学部学科等	
学部	教育学部
第1志望学科	初等・中等教育コース 小学校専攻 (地域枠)
第2志望学科	初等・中等教育コース 小学校専攻 (一般枠)
受験科目(必須)	面接
大学入学共通テスト	■■■■■

志望学科等は正しく選択していますか？

大学入学共通テスト成績請求番号は正しく入力されていますか？

基本情報	
氏名 (フリガナ)	クマダイ シロウ
氏名 (漢字)	熊大 次郎
生年月日	2006年9月1日 (平成18年9月1日生まれ) 満 18 歳
性別	男性

氏名、生年月日、郵便番号、住所、電話番号等の情報は正しく入力されていますか？

本人連絡先	
住所種別	日本国内
郵便番号	860-0000
都道府県	熊本県
市区町村	熊本市AA区
番地等	BB 1 丁目 1 の 1
マンション団地等	Cマンション301号室
電話番号	携帯:090-0000-0000, 自宅:096-0000-0000
メールアドレス	■■■■■

志願者以外の緊急連絡先 (保護者等) となっていますか？

緊急時の連絡先	
電話番号 (携帯)	090-1111-1111

卒業見込み又は卒業年月が正しく入力されていますか？

入試成績の開示請求の希望	
入試成績の開示請求	希望する

出願資格	
出身高校	■■■■■
課程	全日制
学科	普通科
卒業年	卒業見込み

「確定」をクリックすると、登録内容の変更はできません。
必ず登録した内容に間違いがないか確認をしてクリックしてください。
誤りがあった場合には、「戻る」をクリックして、登録内容を修正してください。


大学入試共通テスト	
受験教科・科目の確認	確認した

完了すると確認メールが送信されます。
(申請手続は検定料のお支払い及び必要書類を郵送することで完了します)

「確定」をクリックすると、登録内容の変更はできません。
必ず登録した内容に間違いがないか確認してください。

「確定」をクリックした後、以下の画面が表示されれば、インターネット出願システムへの登録は完了です。また、nyushi@jimu.kumamoto-u.ac.jp から、メールが送信されますので、確認してください。

続いて、案内に従って、証明写真のアップロード等の手続きを行ってください。インターネット出願システムへの登録だけでは、出願手続は完了しません。各入試区分の出願期間内に、検定料の納付及び必要書類を郵送（必着）することで完了します。



登録完了

出願情報の登録が完了しました。

※「XXXXXXXXXX」宛てにインターネット出願情報登録完了メールをお送りしました。
出願情報の登録が完了しました。

続いて以下の手順に従って、出願手続を完了してください。

- 1.証明写真のアップロード
- 2.検定料のお支払い
- 3.必要書類の送付（締切日17時必着）
- 4.受験票の持参（出願受付完了後、募集要項に記載の日時にメールでお知らせします）

※入学検定料の免除を認定されている場合は入学検定料の納付は不要です。

続いて以下の手順に従って、出願手続を完了してください。

1.証明写真のアップロード

画面下部の「申し込み一覧」ボタンを押下し、上半身無帽正面向き無背景で本人と判別できるものを証明写真としてアップロードしてください。
ただし、試験期間中に眼鏡をかける者は、眼鏡をかけて撮影してください。
このシステム内で縦4cm、横3cmの大きさになるように加工することができます。

↓

2.検定料のお支払い

画面下部の「申し込み一覧」ボタンを押下し、検定料のお支払いサイトから行ってください。

↓

3.必要書類の郵送

画面下部の「申し込み一覧」ボタンを押下し、必要書類を確認のうえ募集要項に記載の出願期間内に到着するように郵送してください。

↓

4.受験票の持参

受験番号確定後、このシステムで使用しているメールアドレスへお知らせメールが届きます。
お知らせメールの本文のURLにアクセスしログイン後、「受験票」を印刷し、必ず試験場へ持参してください。（カラー・白黒どちらでも可）

次回のログインからは申し込み一覧が表示されます。

申し込み一覧

Step 8 証明写真のアップロード

Step7 の画面から「申し込み一覧」をクリック、又は一旦ログアウトしている場合は、インターネット出願システムのサイトにアクセスしなおして、再度ログインをしてください。

ログイン

メールアドレス

パスワード

戻る

ログイン

新規登録

Step2 で登録したメールアドレスとパスワードを入力し、ログインしてください。

以下の「申し込み一覧」が表示されますので、「写真のアップロード」をクリックし、写真をアップロードしてください。

申し込み一覧

受験票用写真

顔写真データ

写真のアップロード

写真がアップロードされていません。
出願書類受理後は写真の変更ができません。

学校推薦型選抜Ⅱ

学部	教育学部 試験日：2月8日(土)	出願内容確認
第1志望学科	初等・中等教育コース 小学校専攻 (地域枠)	
第2志望学科	初等・中等教育コース 小学校専攻 (一般枠)	
受験科目(必須)	面接	
出願日時		
お支払い状況	未済 お支払い期限：2025-01-24 お支払いからシステムに反映するまで時間を要する場合があります。	検定料のお支払い
出願確認票 [印刷サイズ：A4]	写真登録および、お支払い完了後、印刷が可能になります。 システムから印刷したもの。 ※印字されている内容に誤りがなければ、確認してください。	印刷
宛ラベル [印刷サイズ：A4]	写真登録および、お支払い完了後、印刷が可能になります。 システムから印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください。 ※印字されている内容に誤りがなければ、確認してください。また、提出書類チェック欄にチェックしてください。 ※封筒は、市販の角形2号封筒 (240mm×332mmでA4サイズの書類を折らずに入れることができる封筒) を準備してください。	印刷
受験票 [印刷サイズ：A4]	受験番号確定後、印刷が可能になります。(大学からメールが送信されます) ダウンロードした受験票はA4サイズで印刷し、「大学入試共通テスト受験票」と併せて試験当日に必ず持参してください。	印刷
合格発表日	2月12日(水) 15:00	
成績開示	成績開示期間：2025-05-01～2025-06-30 23:59	成績開示

追加出願

ログアウト

受験票用写真のアップロード

受験票用写真

顔写真データ 必須

画像をアップロードするにはポップアップを許可する必要があります。

- 志願者本人のみ(上半身・正面)を撮影したもの
- 試験中に眼鏡をかける者は、眼鏡をかけて撮影したもの
- 直近3か月以内に撮影したもの
- 無帽、無背景、枠なしで撮影したもの
- カラーで撮影したもの
- ファイル形式がJPEG または PNG のもの
また、画像比率の変更以外の加工写真不可。
- 写真サイズは縦横比 4 : 3
- 高画質で撮影したもの(100KB~5MB)

sample

画像を選択

戻る アップロード

表示された条件を確認して、条件を満たす画像ファイルを選択してください。条件を満たさない場合エラーメッセージが出る場合があります。アップロードがうまくいかない時は、写真を変更する、ブラウザを変更する等の方法を試してください。

受験票用写真のアップロード

受験票用写真

顔写真データ 必須

画像をアップロードするにはポップアップを許可する必要があります。

- 志願者本人のみ(上半身・正面)を撮影したもの
- 試験中に眼鏡をかける者は、眼鏡をかけて撮影したもの
- 直近3か月以内に撮影したもの
- 無帽、無背景、枠なしで撮影したもの
- カラーで撮影したもの
- ファイル形式がJPEG または PNG のもの
また、画像比率の変更以外の加工写真不可。
- 写真サイズは縦横比 4 : 3
- 高画質で撮影したもの(100KB~5MB)

sample

sample

赤の点を頭の頂点と頸の先に合わせてください。

画像選択を取消

戻る アップロード

写真は、トリミングすることが可能です。写真のトリミング完了後、「アップロード」ボタンをクリックしてください。ただし、トリミングした画像が小さすぎる場合、エラーが出る場合があります。

Step9 検定料のお支払い

Step8 の画面から「アップロード」をクリック、又は一旦ログアウトしている場合は、インターネット出願システムのサイトにアクセスしなおして、再度ログインをしてください。

ログイン

メールアドレス	
パスワード	

戻るログイン

新規登録

Step2 で登録したメールアドレスとパスワードを入力し、ログインしてください。

以下の「申し込み一覧」が表示されますので、「検定料のお支払い」をクリックしてください。

申し込み一覧

受験票用写真

顔写真データ

sample

写真のアップロード

出願書類を受理すると写真の変更ができなくなります。

学校推薦型選抜Ⅱ 出願内容確認

学部	教育学部 試験日：2月8日(土)
第1志望学科	初等・中等教育コース 小学校専攻（地域枠）
第2志望学科	初等・中等教育コース 小学校専攻（一般枠）
受験科目(必須)	面接
出願日時	
お支払い状況	未済 お支払い期限：2025-01-24 お支払いからシステムに反映するまで時間を要する場合があります。 検定料のお支払い
出願確認票 [印刷サイズ：A4]	写真登録および、お支払い完了後、印刷が可能になります。 システムから印刷したもの。 ※印字されている内容に誤りがないか、確認してください。 印刷
宛名ラベル [印刷サイズ：A4]	写真登録および、お支払い完了後、印刷が可能になります。 システムから印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください。 ※印字されている内容に誤りがないか、確認してください。また、提出書類チェック欄にチェックしてください。 ※封筒は、市販の 角形2号封筒 （240mm×332mmでA4サイズの書類を折らずに入れることができる封筒）を準備してください。 印刷
受験票 [印刷サイズ：A4]	受験番号確定後、印刷が可能になります。（大学からメールが送信されます） ダウンロードした受験票はA4サイズで印刷し、「大学入試共通テスト受験票」と併せて試験当日に必ず持参してください。 印刷
合格発表日	2月12日(水) 15:00
成績開示	成績開示期間：2025-05-01～2025-06-30 23:59 成績開示

追加出願ログアウト

以下の「支払方法選択」が表示されますので、希望する支払方法を選択し、「お支払いサイトへ」をクリックしてください。その後はサイトの案内に従って支払手続を行ってください。

支払方法選択

支払方法選択 必須

お支払い方法を以下より選択してください。

クレジットカード決済
 ペーパーレス決済 (PAYSLE、コンビニ、ペイジー等)

入学検定料	17,000円
成績開示手数料	300円
サービス利用料	

お支払い金額 -

お支払いサイトへ
閉じる

Step 10 必要書類の郵送

Step8「写真のアップロード」、Step9「検定料のお支払い」の手続を完了した後、「申し込み一覧」へ再度ログインすると、「出願確認票」及び「宛名ラベル」のPDFファイルが出力可能になりますので、ファイルをA4サイズで印刷してください。カラー印刷ができない場合は、白黒印刷で結構です。宛名ラベルを封筒に貼り付け、その他の出願に必要な書類（51～52 ページで確認してください）を同封の上郵送してください。

申し込み一覧

受験票用写真

顔写真データ

sample

出願書類を受理すると写真の変更ができなくなります。

[写真のアップロード](#)

出願内容確認

ここから出願内容の確認が可能です。
(修正はできません)

学校推薦型選抜 II		出願内容確認
学部	教育学部 試験日：2月8日(土)	
第1志望学科	初等・中等教育コース 小学校専攻 (地域枠)	
第2志望学科	初等・中等教育コース 小学校専攻 (一般枠)	
受験科目(必須)	面接	
出願日時	XXXXXXXXXX	
お支払い状況	支払方法：XXXXXXXXXX お支払い日時：XXXXXXXXXX	
出願確認票 [印刷サイズ：A4]	印刷されていません。 システムから印刷したものを。 ※印字されている内容に誤りがないか、確認してください。	印刷
宛名ラベル [印刷サイズ：A4]	印刷されていません。 システムから印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください。 ※印字されている内容に誤りがないか、確認してください。また、提出書類チェック欄にチェックしてください。 ※封筒は、市販の角形2号封筒 (240mm×332mmでA4サイズの書類を折らずに入れることができる封筒) を準備してください。	印刷
受験票 [印刷サイズ：A4]	受験番号確定後、印刷が可能になります。(大学からメールが送信されます) ダウンロードした受験票はA4サイズで印刷し、「大学入試共通テスト受験票」と併せて試験当日に必ず持参してください。	印刷
合格発表日	2月12日(水) 15:00	
成績開示	成績開示期間：2025-05-01 ~ 2025-06-30 23:59	成績開示

[追加出願](#)
[ログアウト](#)

受験票は、大学から受験番号確定メールが送信された後、印刷可能になります。

4. 受験票及び試験場等案内

(1) 受験票について

令和7年1月31日（金）に、インターネット出願システムからダウンロードが可能となる予定です。当日の17時までにシステム上で登録された電子メールアドレスへ「受験番号確定メール」を送信しますので、必ず確認の上、受験票を印刷してください。

また、同日以降、本学ウェブサイトにおいて、入学志願者への注意事項等の連絡及び試験場の案内を記載した「試験場等案内」を掲載します。

なお、ダウンロードした受験票はA4サイズで印刷し、試験当日に必ず持参してください。

※大学からのメールは再送しませんので、確実に受信できるよう設定を確認しておいてください。

※入学試験当日は、「熊本大学入学試験受験票」と併せて「大学入学共通テスト受験票」を必ず持参してください。

(2) 受験票の保管

「大学入学共通テスト受験票」は、入学手続の際にも必要ですので保管しておいてください。

5. 受験に際しての注意事項

(1) 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもって行動してください。

なお、自然災害等により、試験実施が困難となった場合の対応等については、本学ウェブサイト (<https://www.kumamoto-u.ac.jp/>) でお知らせします。

(2) 受験時の宿泊は受験者が手配してください。

(3) 受験者は、試験日の前日、下見をして試験場の場所を確認するとともに、試験についての注意事項を承知しておいてください。ただし、建物の中に入ることはできません。

下見日時：令和7年2月7日（金） 13時から15時まで

なお、「本学受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」を持参してください。

(4) 受験者は、「本学受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」を持参し、指定の時刻・場所に集合してください。

(5) 試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

- ・定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
- ・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類

これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。

なお、イヤホンは耳に装着していれば使用しているものとします（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮の申請（71ページの「10. 障がい等を有する入学志願者との事前相談」を参照）が必要です。）。

(6) 試験時間中に使用してはいけない携帯電話等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。

(7) 小論文は、試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後30分以内であれば受験を認めます。

ただし、試験時間の延長は認めません。

(8) 面接は、集合時刻に遅刻した者は、受験できないことがあります。

(9) 不正行為について

①次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての試験の成績を無効とします。

- ア 出願確認票、受験票・写真票、出願書類、解答用紙へ故意に虚偽の登録や記入（出願登録時に本人以外の写真を登録することや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- カ 試験開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- キ 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ク 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
- ケ 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

②前述①以外にも、次のことをすると**不正行為となることがあります**。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、前述①と同様です。

- ア 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- オ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

(10) マスクの着用は、原則として個人の判断に委ねることとします。ただし、咳などの症状がある方にはマスクの着用をお願いすることがあります。

6. 合格者発表

合格発表日：令和7年2月12日（水）15時（予定）

上記の日時以降にインターネット出願システムにログインし、「申し込み一覧」から「合否判定」をクリックすることで合否を確認することができます。また、合格者は合格通知書をダウンロードすることができます（合格通知書は送付しません）。なお、同ページに「入学手續のご案内」も掲載しますので、必ずご確認ください。

参考までに本学ウェブサイト (<https://www.kumamoto-u.ac.jp/>) にも合格者の受験番号を掲載します。（15時掲載予定。当日の通信環境の状況等により遅れる場合があります。）

※本学構内における合格者受験番号の掲示は行いません。

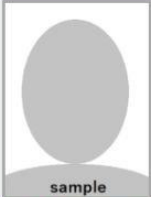
なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

注意：試験日前日や試験日当日に、大学周辺等で合否電話等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係ありませんので、十分注意してください。

申し込み一覧

受験票用写真

顔写真データ



出願書類受理後は写真の変更ができません。

[写真のアップロード](#)

学校推薦型選抜Ⅱ

学部	教育学部 試験日：2月8日(土)	
第1志望学科	初等・中等教育コース 小学校専攻（地域枠）	
第2志望学科	初等・中等教育コース 小学校専攻（一般枠）	
受験科目(必須)	面接	
出願日時	[REDACTED]	
お支払い状況	支払方法：[REDACTED] お支払い日時：[REDACTED]	
出願確認票 [印刷サイズ：A 4]	印刷日時：[REDACTED] システムから印刷したもの。 ※印字されている内容に誤りがないか、確認してください。	印刷
宛名ラベル [印刷サイズ：A 4]	印刷日時：[REDACTED] システムから印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください。 ※印字されている内容に誤りがないか、確認してください。また、提出書類チェック欄はチェックしてください。 ※封筒は、市販の 角形2号封筒 （240mm×332mmでA 4サイズの書類を折らずに入れることができる封筒）を準備してください。	印刷
受験票 [印刷サイズ：A 4]	印刷日時：[REDACTED] ダウンロードした受験票はA 4サイズで印刷し、「大学入試共通テスト受験票」と併せて試験当日に必ず持参してください。	印刷
合格発表日	2月12日(水) 15:00	合格判定
成績開示	成績開示期間：2025-05-01～2025-06-30 23:59	成績開示

[追加出願](#)
[ログアウト](#)

合格者発表の日時以降に、ここから合格の確認ができます。合格者は合格通知書をダウンロードすることができます。また、「入学手續のご案内」を必ずご確認ください。

7. 入学手續

合格者はインターネット入学手續期間に、インターネット出願システムにログインし、「申し込み一覧」の「入学手續」から手續を行います。詳細は、本学ウェブサイトに掲載する「入学ガイドブック」で確認してください。

(1) 入学手續期間

令和7年2月18日（火）から2月19日（水）17時（必着）

入学手續は、インターネットでの登録（写真のアップロード含む。）及び入学料の支払い後に入学手續書類の郵送が必要です。郵送は、「簡易書留速達」郵便で上記期間内に書類を提出してください。

※2月19日（水）17時以降に到着した場合は、いかなる理由があっても受理しません。

(注) 顔写真データ（カラー、上半身正面脱帽、直近3か月以内に撮影したもので、写真サイズは100KB以上5MB以下、写真データ形式は「JPEG 又は PNG」のいずれかであること。私服<高校制服不可>）を準備しておいてください。

(2) 提出書類等

- ①保証書
- ②大学入学共通テスト受験票
- ③市販の長形3号封筒（120mm×235mmに110円切手を貼付）

(注) 郵送時は、市販の角形2号封筒(240mm×332mmでA4サイズの書類を折らずに入れることができる封筒)を使用してください。

(3) 入学手続き時の必要経費

入学料(予定額) 282,000円

(注) 入学料及び授業料の納入方法、免除の申請手続方法等については、「入学ガイドブック」(本学ウェブサイトにて掲載)にてお知らせします。なお、入学手続き時に授業料を払い込む必要はありません。

参考) 令和6年度授業料は、前期267,900円、後期267,900円(年額535,800円)です。
令和7年度については、改定がない場合、令和6年度の授業料がそのまま適用されます。

(4) 問合せ先

熊本大学学生支援部入試課 (電話) 096-342-2146

受付時間 月～金曜日(休日を除く。) 8時30分～17時15分

8. 合格者に対する注意事項

- (1) 学校推薦型選抜合格者が、入学手続期間中に入学手続を行わない場合は、合格者としての権利を失います。
- (2) 学校推薦型選抜合格者で入学手続を完了した者は、本学及び他の国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下、同じ。)の一般選抜(前期日程・後期日程)を受験しても合格者とはなりません。
- (3) 学校推薦型選抜合格者は、本学から入学の辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学・学部を受験しても入学許可は得られません。
ただし、特別な事情で入学を辞退する必要があり、推薦を行った学校長から「学校推薦型選抜入学辞退願」(様式任意、受験番号、氏名、具体的な辞退事由について記載したもの)を本学学長に提出し、令和7年2月19日(水)17時までに許可を得た場合はこの限りではありません。
- (4) 学校推薦型選抜合格者で、入学手続完了後、高等学校を卒業しない等の事由が生じた場合は入学許可を取消します。

9. 学校推薦型選抜志願者が一般選抜を志願する場合の取扱い

学校推薦型選抜志願者が国公立大学の一般選抜を志願する場合は「前期日程」、「後期日程」グループからそれぞれ一つ、合計二つまでの大学・学部に出願することができます。

その際、一般選抜の志願者と同様に令和7年1月27日(月)から2月5日(水)までの間に、改めて出願しなければなりません。

この場合、大学入学共通テストについては、志望する大学・学部所定の教科・科目を受験しておくことが必要です。

10. 障がい等を有する入学志願者との事前相談

障がい等を有する入学志願者で、本学において受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願に当たっては以下により相談してください。

なお、対象となる者は、下表のとおりです。

(1) 対象となる者

区 分	対 象 と な る 者
[ア] 視覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> 点字による教育を受けている者 視力が高い方の目の矯正視力が0.15以下の者 両眼による視野について視能率による損失率が90%以上の者 上記以外の視覚障がい者
[イ] 聴覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 上記以外の聴覚障がい者
[ウ] 肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> 体幹の機能障がいにより座位を保つことができない者又は困難な者 両上肢の機能障がい著しい者 上記以外の肢体不自由者
[エ] 病 弱	<ul style="list-style-type: none"> 慢性の呼吸器、心臓、腎臓疾患等の状態が継続して医療・生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
[オ] 発達障がい	<ul style="list-style-type: none"> 自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいのため受験上及び修学上の配慮を必要とする者
[カ] そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> [ア]～[オ]の区分以外の者で受験上及び修学上の配慮を必要とする者

(2) 相談の時期

入 試 区 分	視覚・聴覚障がい、体幹及び両上肢の機能障がい著しい者で、「点字解答」及び「代筆解答」を希望するもの	左記以外の受験上の配慮を希望する者
学校推薦型選抜Ⅱ	令和6年12月2日（月）まで	令和7年1月10日（金）まで

相談の内容によっては対応に時間を要することがあり、本学の試験までに対応できず受験上の配慮が講じられないこともありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

ただし、期限後に不慮の事故等により身体に障がい等を有することとなった場合は、その際に相談してください。

(3) 相談の方法

①事前相談票及び医師の診断書を提出してください。

なお、必要な場合は本学において、入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面接を行うことがあります。

②事前相談票は、本学ウェブサイト (<https://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/gakubunyushi/>) 掲載の様式を利用してください。

(4) 問合せ先

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号

熊本大学学生支援部入試課 (電話) 096-342-2148

受付時間 月～金曜日(休日を除く。) 8時30分～17時15分

1 1. 請求により本人に開示される個人情報

令和7年度入学者選抜に係る成績及び調査書の開示は次のとおり取扱います。

(1) 個人成績の開示

①開示期間

令和7年5月1日(木)から6月30日(月)

上記期間にインターネット出願システムにログインし、「申し込み一覧」から「成績開示」をクリックすることで確認することができます。また、必要に応じてダウンロードすることができます。

②申込方法

・成績開示を希望する志願者は、インターネット出願登録の際、「入試成績の開示請求」の『希望する』を選択し、入学検定料と併せてお支払いください(成績開示手数料 300 円が別途必要です。)

なお、入学検定料免除者の場合は開示請求手数料も免除されます。

・出願時に成績開示を希望しなかった場合は、出願後に成績開示を希望することはできません。

③開示内容

・入学試験成績

大学入学共通テスト：採用した各教科・科目ごとの得点(換算点)及び総合点(換算点)

個別学力検査等：科目別得点、総合点及び評価

総合得点

得点順位(募集区分ごとの合格者が10人以下の場合、合格者の順位は開示しません。)

合格最低点(募集区分ごとの合格者が10人以下の場合、開示しません。)

・調査書

全体の学習成績の状況

(2) 調査書の開示

①申込期間

令和7年5月1日(木)から6月30日(月)までの8時30分から17時15分(休日を除く。)

②申込方法

直接、入試課窓口に申し込んでください。代理人による申込はできません。

窓口閲覧のため、郵送、電話、FAX等での申込は受け付けません。

③開示内容

出願時に提出された調査書の閲覧とします。

ただし、「指導上参考となる諸事項」、「総合的な探究の時間の記録・評価」及び「備考」欄を除きます。

(3) その他

令和6年度以前の入学者選抜に係る個人成績・調査書は、開示しません。

(4) 問合せ先

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号

熊本大学学生支援部入試課

(電話) 096-342-2146

受付時間 月～金曜日(休日を除く。) 8時30分～17時15分

12. 個人情報の取扱い

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の氏名等の個人情報を入学手続に係る業務に利用します。
- (2) 入学者の氏名等の個人情報を学籍管理などの修学に係る業務に利用します。
- (3) 入学者及び学資負担者の住所・氏名等の個人情報を授業料徴収など納入金管理に係る業務に利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除・授業料免除及び奨学生選考など修学支援に係る業務に利用します。
- (5) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を入学者選抜等に関する調査・研究等に係る業務に利用します。
- (6) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

※本学が取得した個人情報は、法令に基づく場合を除き、志願者本人の同意を得ることなく上記以外の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

学生生活等

1. 学生寄宿舍（学生寮）

勉学に資する生活の場を学生に提供する目的で「学生寄宿舍」を設置しています。審査及び選考については、経済的事情及び地理的状况を考慮して入居者を決定します。

(1) 収容定員及び施設概要等

区分	収容定員（全体）	入居対象者	建物構造	備考
男子A棟	100人	学部学生、学部留学生及び大学院留学生	鉄筋5階建 (共通棟は鉄筋平屋建)	昭和55年 4月1日設置
男子B棟	100人			
女子棟	80人			

- ・ 居室（10 m²）は個室（洋室）です。希望者は学生用レンタル・インターネットシステムを有料で利用できます。各階には談話室・補食室・洗面洗濯室・トイレ等があり、共通棟にはロビー及び浴場が設置されています。
- ・ 食堂はありませんが、補食室を利用した自炊はできます。
- ・ 280室のうち、留学生専用居室が25室（男子A棟5階に20室、女子棟各階に1室の計5室）あります。

(2) 入居許可期間

原則、入居を許可された日から最短修業年限満了の日までです。

(3) 経費

寄宿料は、月額4,300円です。光熱水料費等合わせて毎月15,000円程度必要です。

留学生専用居室の場合は、月額6,400円です。その他光熱水料費等合わせて毎月17,000円程度必要です。（留学生専用居室には、エアコン・机・イスが設置されています。）

※経費は年度途中で変更になる可能性があります。後述のURLより最新情報をご確認ください。

(4) 所在地

〒860-0862 熊本市中央区黒髪7丁目763番地

大学（黒髪地区）から東に約1.5km、徒歩約20分のところにあります。

(5) 募集要項について

令和7年1月中旬から本学ウェブサイトに掲載を予定しています。入居希望者は、下記URLから内容を確認の上、申請期間内にダウンロードしてください。

<https://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakuseikatsu/fukurikousei/kishukusha>

問合せ先：〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号

熊本大学学生支援部学生生活課（生活支援担当）（電話）096-342-2124

受付時間 月～金曜日（休日を除く。） 8時30分～17時15分

※外国人留学生のための専用宿舎として国際交流会館があります。

詳細については、国際教育課（電話：096-342-2160）までお問い合わせください。

2. 高等教育の修学支援新制度による入学料・授業料等減免について

高等教育の修学支援新制度に基づき、入学料・授業料の免除（減免）を希望する人は、日本学生支援機構給付奨学金申請を必ず行ってください。給付奨学生に採用された場合は給付型奨学金の受給と入学料・授業料の免除（減免）をセットで受けることができます。詳細については、文部科学省、日本学生支援機構及び本学ウェブサイト等で確認ください。

3. 奨学金

奨学金には日本学生支援機構のほかに、地方公共団体や民間団体の奨学金制度があります。詳細については、日本学生支援機構、地方・民間団体又は本学ウェブサイト等で確認ください。

【問合せ先（2. ～3.）】

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
熊本大学学生支援部学生生活課（経済支援担当）（電話）096-342-2151
受付時間 月～金曜日（休日を除く。） 8時30分～17時15分

参 考 資 料

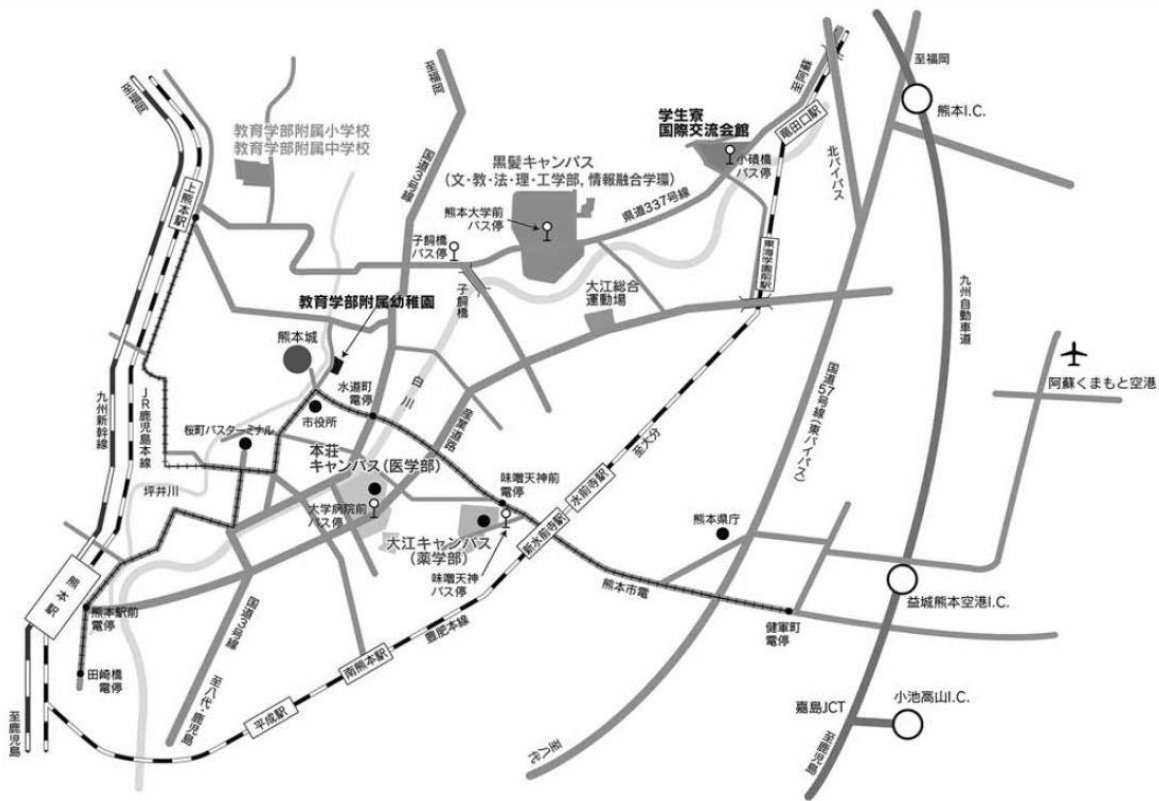
令和7年度学校推薦型選抜Ⅱ 学生募集要項の主な変更点

募集要項 該当ページ	該当 学部等	事 項
全体	共通	<p style="text-align: center;">推薦・選抜方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テストの利用教科・科目において、新教育課程による出題科目の変更及び「情報Ⅰ」の追加に伴い、配点を変更（教育学部学校教育教員養成課程初等・中等教育コース実技系専攻（技術）を除く。）。 ・大学入学共通テストの利用教科・科目について、新課程履修者用及び旧課程履修者等に対する経過措置について記載。
39、42	工学部	<p style="text-align: center;">推薦・選抜方法等</p> <p>7. 工学部（ア）、8. 工学部（イ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接の口頭試問における出題範囲を以下のとおり変更。 数学分野（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C）、物理分野（物理基礎・物理）、化学分野（化学基礎・化学）、生物分野（生物基礎・生物） ・大学入学共通テストで課す「外国語『英語』」については、リーディング（100点満点）及びリスニング（100点満点）の成績をそのまま200点満点としたうえで、各学科・課程における配点のとおりに換算する。
45、49	情報融合学環	<p style="text-align: center;">推薦・選抜方法等</p> <p>9. 情報融合学環（一般枠）、10. 情報融合学環（女子枠）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接の口頭試問における出題範囲を以下のとおり変更。 数学分野（数Ⅰ・数Ⅱ・数A：全範囲、数B：数列、数C：ベクトル）
51	共通	<p style="text-align: center;">出願・受験案内等</p> <p>1. 出願手続 （2）出願書類等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査書の発行年の指定を廃止。 ・志望理由書の印刷指定をA3サイズ片面1枚からA4サイズ両面1枚に変更。
68	共通	<p style="text-align: center;">出願・受験案内等</p> <p>6. 合格者発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合格通知書の送付に代わり、可否結果を出願システム上で確認できる仕様とし、合格通知書をダウンロード形式に変更。
72	共通	<p style="text-align: center;">出願・受験案内等</p> <p>11. 請求により本人に開示される個人情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人成績の送付に代わり、インターネット出願システム上で確認できる仕様とし、ダウンロード形式に変更。

令和6年度学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）の実施状況

学部等	学科・課程・専攻		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数			
教育学部	学校教育教員養成課程	初等・中等教育コース	小学校専攻	10	45	44	10	10		
			一般枠							
			地域枠							
		実技系専攻	理数専攻	10	20	19	10	10		
			音楽	10	12	7	12	9	4	9
			美術							
			保健体育							
			技術							
		家庭								
		特別支援教育コース	6	11	11	5	5			
養護教育コース	8	35	35	9	9					
医学部	医学科	一般枠	5	28	27	5	5			
		地域枠	8	12	12	7	7			
		みらい医療枠	10	3	3	2	2			
	保健学科	看護学専攻	18	15	15	7	7			
		放射線技術科学専攻	9	24	24	9	9			
		検査技術科学専攻	9	17	17	9	9			
薬学部	薬学科	15	58	57	15	15				
	創薬・生命薬科学科	10	17	17	10	10				
工学部（ア）	土木建築学科	26	55	55	26	26				
	機械数理工学科	16	34	34	15	15				
	情報電気工学科	20	43	43	19	19				
	材料・応用化学科	27	41	41	31	31				
	半導体デバイス工学課程	5	11	11	5	5				
工学部（イ）	土木建築学科	各学科とも若干名 [工学部（ア）の募集人員の枠内]	0	0	0	0				
	機械数理工学科		1	1	1	1				
	情報電気工学科		2	2	1	1				
	材料・応用化学科		0	0	0	0				
	半導体デバイス工学課程		1	1	0	0				
情報学環融合	一般枠	7	24	24	7	7				
	女子枠	8	33	33	9	9				
合 計			252	566	562	235	235			

熊本大学位置図



交通案内

黒髪地区 (文・教育・法・理・工の各学部、情報融合学環)

- ◎ J R 熊本駅
桜町バスターミナル } から
産交バス等：楠団地、光の森産交行き(子飼経由)等に乗車、「熊本大学前」下車
- ◎ J R 上熊本駅から
都市バス：第一環状線、昭和町線(子飼橋経由)行きに乗車、「子飼橋」下車、徒歩 10 分
- ◎ J R 竜田口駅(豊肥本線)から
産交バス等：熊本駅前、桜町バスターミナル行き等に乗車、「熊本大学前」下車

本荘地区(医学部)

- ◎ J R 熊本駅から
都市バス：第一環状線等(大学病院・大江渡鹿経由)に乗車、「大学病院前」下車
- ◎ 桜町バスターミナルから
都市バス：八王寺環状野越団地行きに乗車、「大学病院前」下車
熊本バス：御幸木部行き「大学病院前」下車

大江地区(薬学部)

- ◎ J R 熊本駅から
市営電車：健軍町行き(A系統)に乗車、「味噌天神前」下車、徒歩 5 分
- ◎ 桜町バスターミナルから
産交バス：沼山津、木山行き等(健軍・県庁経由)に乗車、「味噌天神」下車、徒歩 5 分
熊本バス：御船、甲佐、城南行き等(健軍・県庁経由)に乗車、「味噌天神」下車、徒歩 5 分
- ◎ J R 新水前寺駅(豊肥本線)から徒歩 10 分

※ 阿蘇くまもと空港からお越しの場合は、熊本市内行きの空港リムジンバスをご利用ください。

お問合せは、下記の担当で受け付けます。

受付時間 月～金曜日(休日を除く。) 8時30分～17時15分

お問合せは、必ず志願者本人が行ってください。

- 入試に関する事項 入 試 課 TEL 096-342-2148
- 学生寄宿舍(学生寮) 学生生活課生活支援担当 TEL 096-342-2124
- 奨学金等に関する事項 学生生活課経済支援担当 TEL 096-342-2151
- 学部(学科・課程等)・学環のカリキュラム等

※各学部(学科)・学環の教務担当へお尋ねください

教育学部 教務担当	TEL 096-342-2522
医学部(医学科) 教務担当	TEL 096-373-5027
(保健学科) 教務担当	TEL 096-373-5571
薬学部 教務担当	TEL 096-371-4635
工学部 教務担当	TEL 096-342-3522
情報融合学環 教務担当	TEL 096-342-2257

熊本大学 学生支援部 入試課

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号

TEL:096-342-2148 FAX:096-345-1954

E-mail:nyushi@jim.u.kumamoto-u.ac.jp

熊本大学ウェブサイト <https://www.kumamoto-u.ac.jp/>
携帯電話・スマートフォン <http://daigaku.jc.jp/kumamoto-u/>

